

令和7年度
京都市外国籍市民等意識・実態
及び受入れに関する調査
結果報告書
【概要版】

令和8年3月
京都市

調査概要

京都市における外国籍市民の数は、令和7年12月末時点で過去最高の約6万8千人に至るなど、急激に増加している。また、近年は東南アジア諸国出身者の増加や、就労目的の在留資格者及びその家族の伸長など、国籍や在留資格が多様化しており、外国籍市民を取り巻く状況は大きく変化している。

本調査は、そうした状況を踏まえて、外国籍市民に対する生活実態やニーズなどに関する調査、日本人市民に対する受入れに関する意識などに関する調査を行い、2つの調査によって実態や課題を把握することにより、本市において、日本人市民と外国籍市民の相互理解が深まり、誰もがより安心して暮らせるまちづくりに向けた施策を検討することを目的に実施した。

◆実施要領◆

	京都市 外国籍市民 アンケート	京都市 外国籍市民との共生に関するアンケート
(1) 調査対象	外国籍市民 5,000人	日本人市民 3,000人
	京都市内に住民登録のある18歳以上の方から無作為抽出	
(2) 調査期間	令和7年(2025年)7月3日(木)～7月28日(月)	
(3) 調査方法	郵送による配布、郵送・WEBによる回収	
(4) 有効回収数 [有効回収率]	1,390件(郵送660件、WEB730件) [27.8%]	1,188件(郵送860件、WEB328件) [39.6%]

※外国籍市民アンケートでは、途中で回答を終了した場合はその章までを集計対象とし、それ以降は母数(回答者数)に含めていない。そのため、章ごとに母数変動している。

◆用語の使い方◆

○図表中の「n(number of case)」は、有効回答数を表している。

○図表中に次のような表示がある場合は、複数回答を依頼した質問を示している。

・MA%(Multiple Answer): 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合

・3LA%(3 Limited Answer): 回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合

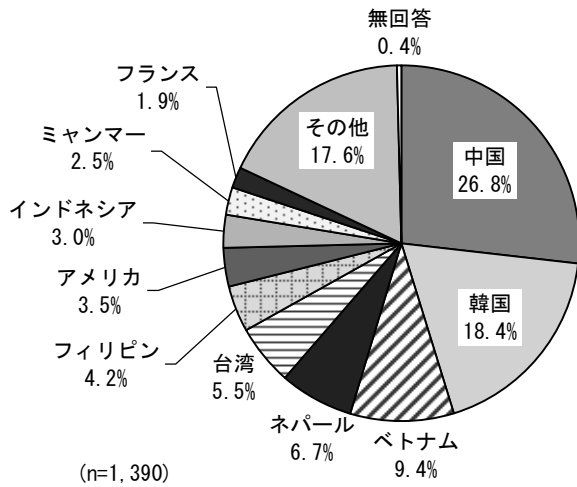
これ以外の場合は、特に断りがない限り、単一回答(回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する)形式の設問となっている。

※調査の詳細については、京都市ホームページで公開している「令和7年度 京都市外国籍市民等意識・実態及び受入れに関する調査結果報告書」をご参照ください。

外国籍市民アンケートの結果

◆回答者について◆

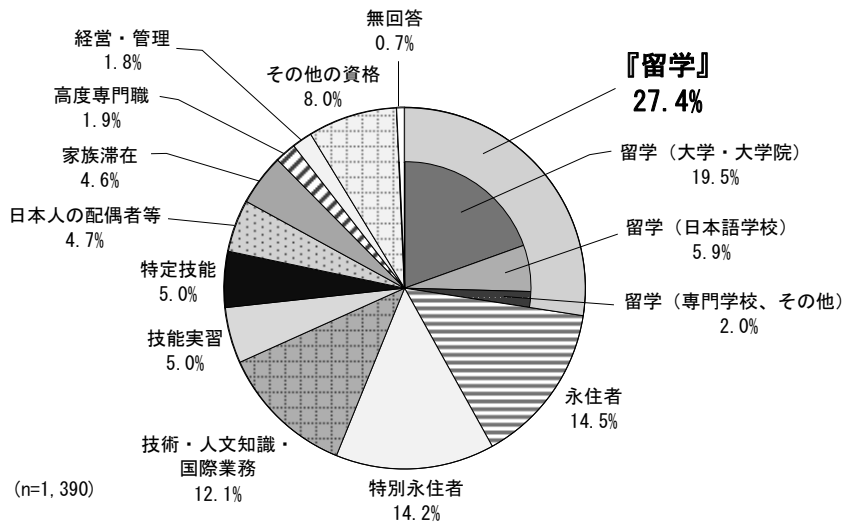
【国籍・地域】(単一回答)



<その他の主な国籍・地域>

国籍・地域	人数
スリランカ	21
イギリス	15
インド	13
ドイツ	13
朝鮮	13
タイ	12
ブラジル	12
バングラデシュ	11
カナダ	9
香港	9
イタリア	7
オーストラリア	7
マレーシア	6
モンゴル	6
ウクライナ	5
スペイン	5

【在留資格】(単一回答)

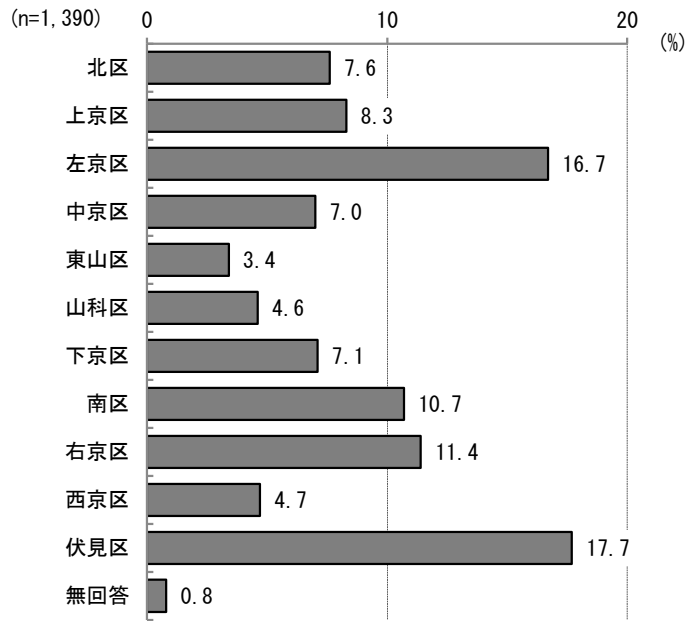


<その他の在留資格>

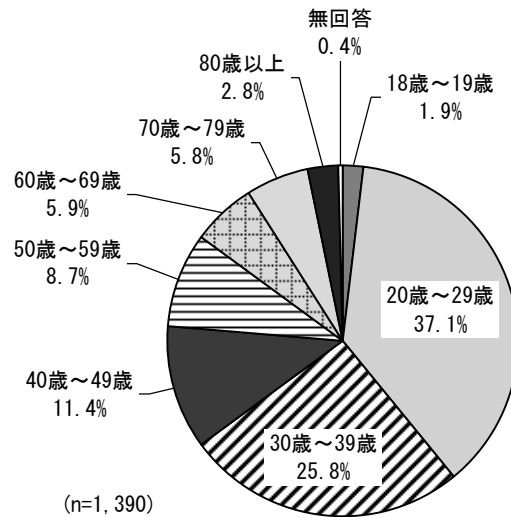
在留資格	人数
特定活動	19
定住者	18
教授	15
永住者の配偶者等	15
技能	13
企業内転勤	6
介護	3
芸術	2
教育	2
文化活動	2
医療	1
未記載	15

※留学に関する在留資格は学校種別の内訳を表示している

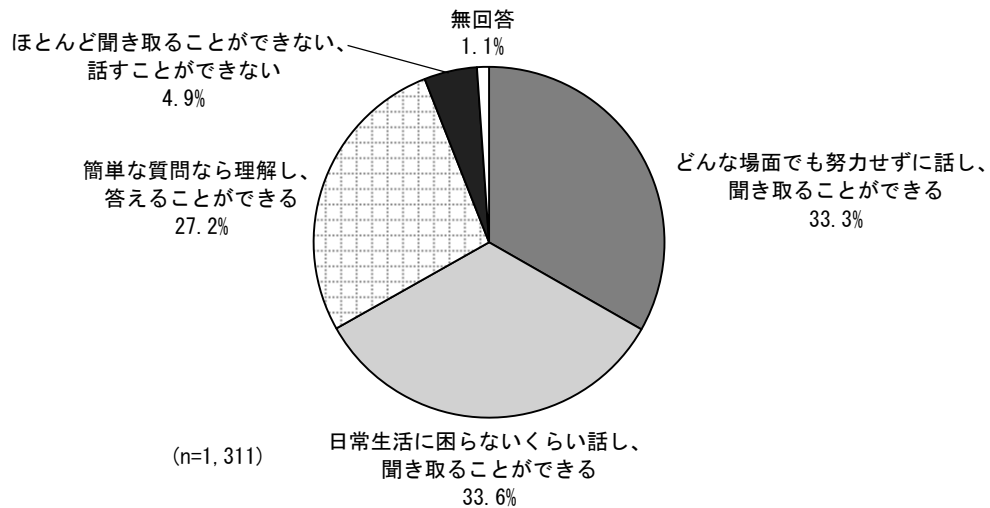
【居住地】(単一回答)



【年齢】(単一回答)



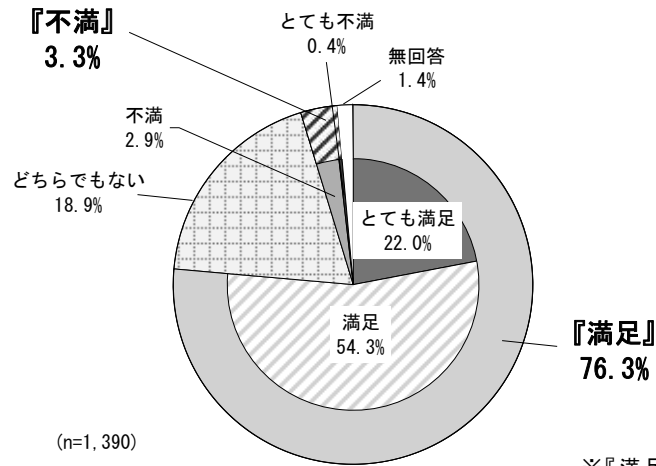
【日本語の状況(「聞く・話す」)】(単一回答)



❖京都市での満足度について❖

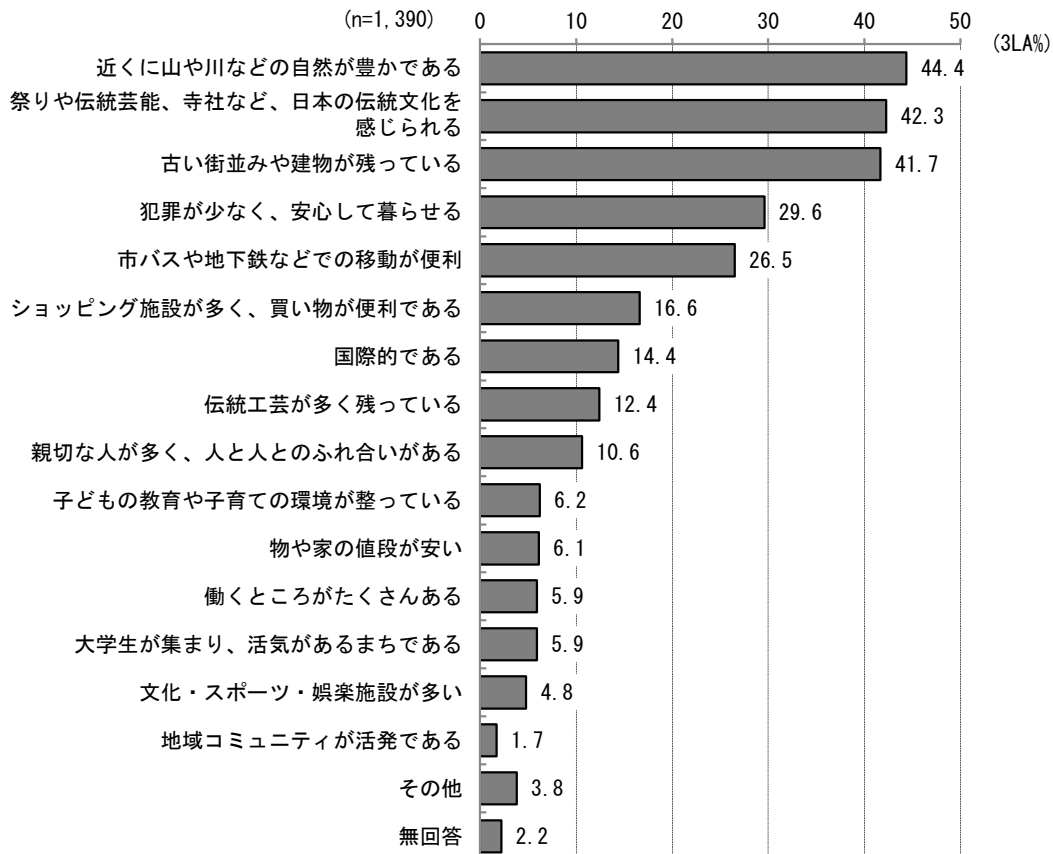
- ・76.3%が『満足』と回答。
- ・「京都」の魅力は、「近くに山や川などの自然が豊かである」が最も多く、次いで、「祭りや伝統芸能、寺社など、日本の伝統文化を感じられる」、「古い街並みや建物が残っている」となっている。

【京都市での満足度】(単一回答)



※『満足』は「とても満足」と「満足」の合計

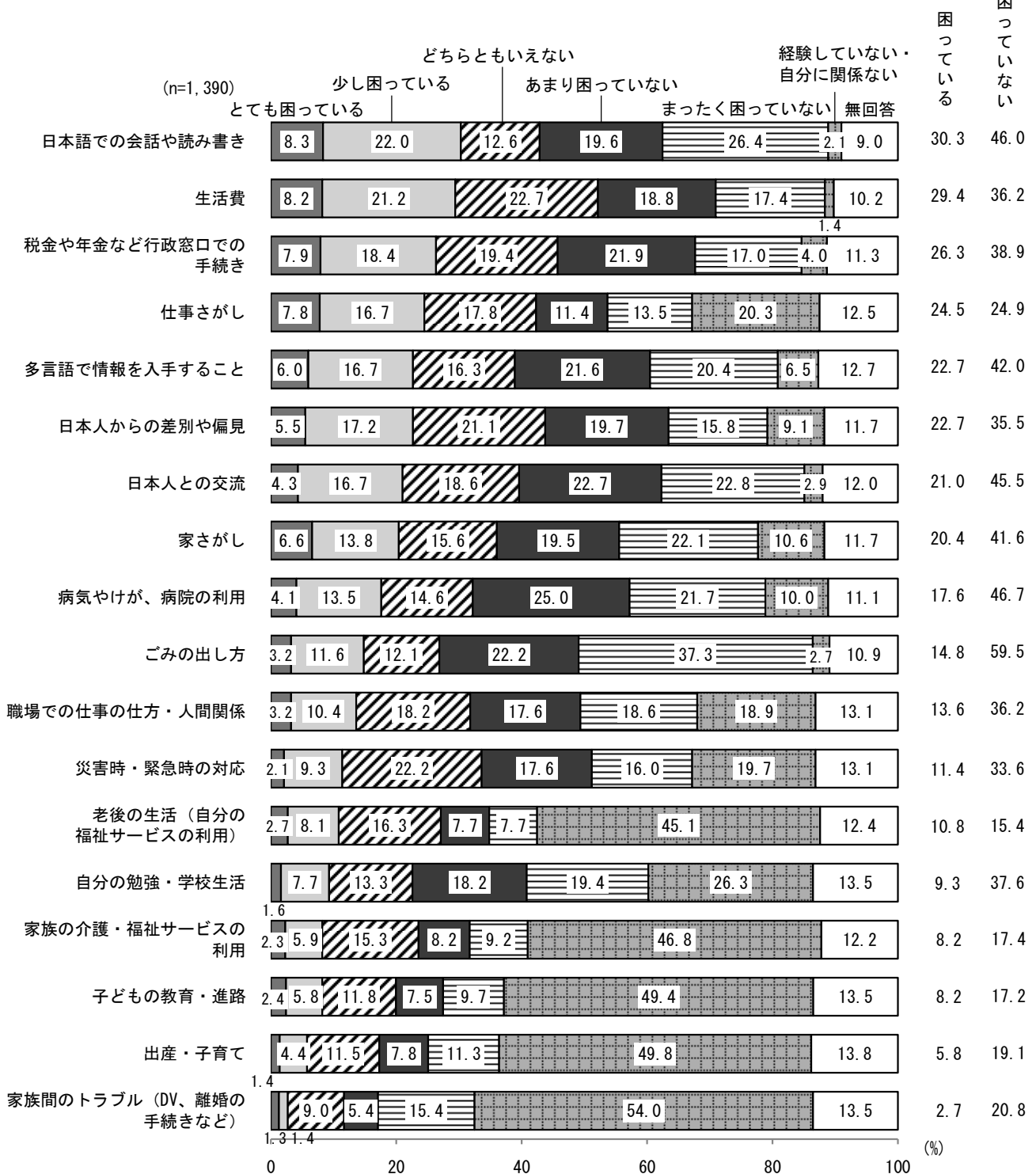
【「京都」の魅力】(あてはまるもの3つを選択)



❖生活の困りごとについて❖

・『困っている』の割合は、「日本語での会話や読み書き」が最も高く、次いで、「生活費」、「税金や年金など行政窓口での手続き」となっている。

【生活の困りごと】(単一回答)



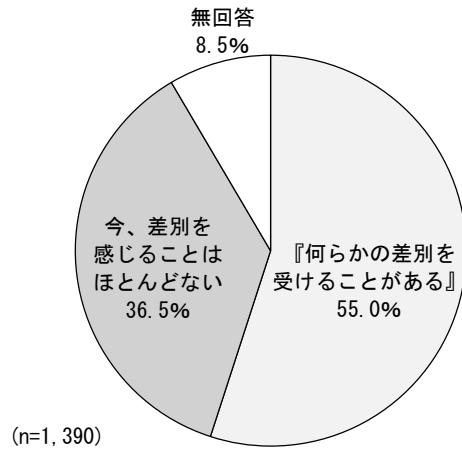
※『困っている』は「とても困っている」と「少し困っている」の合計

※『困っていない』は「まったく困っていない」と「あまり困っていない」の合計

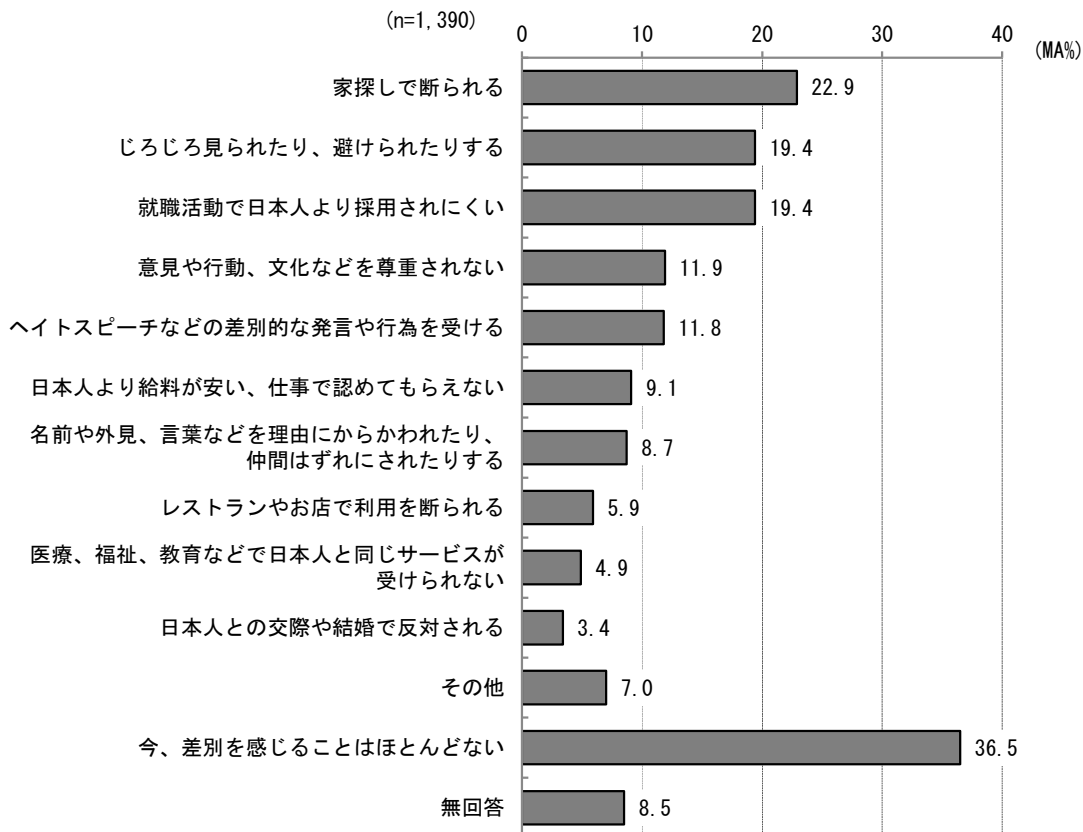
❖差別の経験について❖

- ・55.0%が『何らかの差別を受けることがある』と回答。
- ・差別の内容は、「家探して断られる」が最も多く、次いで、「じろじろ見られたり、避けられたりする」、「就職活動で日本人より採用されにくい」が同じ割合で続いている。

【差別の経験】(複数回答)



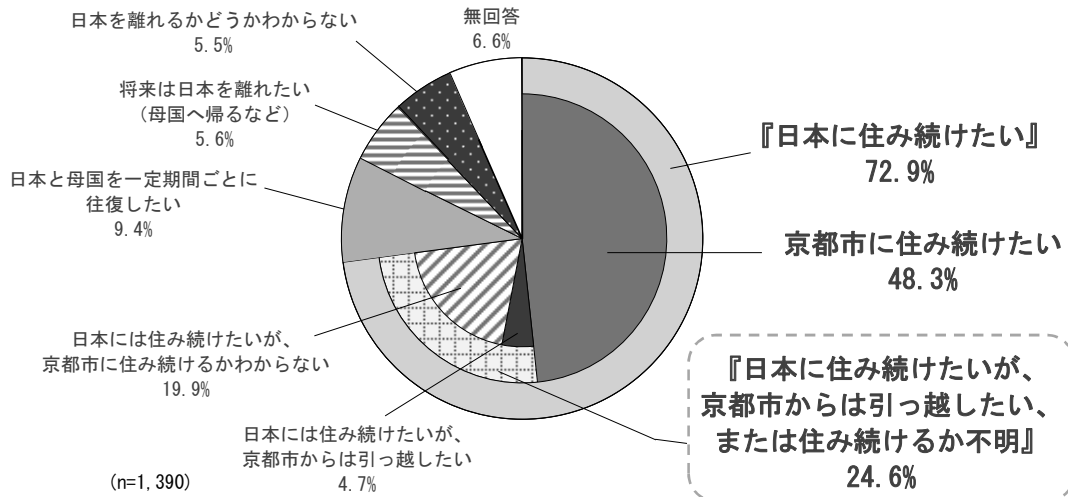
※『何らかの差別を受けることがある』は全回答者から「今、差別を感じることはほとんどない」と「無回答」を除いた割合



❖京都市または日本での定住意向❖

- ・48.3%が「京都市に住み続けたい」と回答。
- ・『日本に住み続けたいが、京都市からは引っ越したい、または住み続けるか不明』と回答した人の、京都市からの転出理由は、「就きたい仕事や働く場所がないため」が最も多く、次いで、「家を見つけることが難しいため」、「家族のその他の理由での移動のため」となっている。

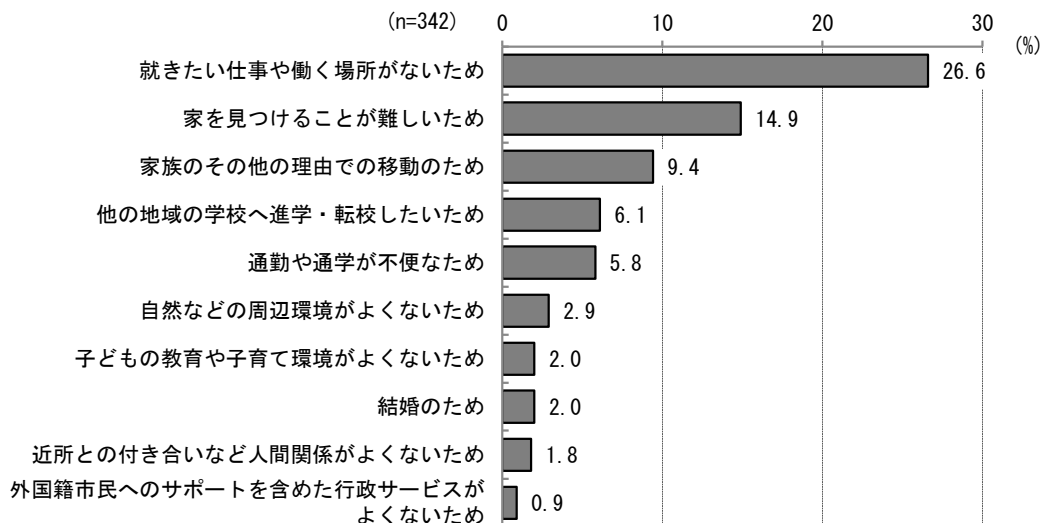
【京都市または日本での定住意向】(単一回答)



※『日本に住み続けたい』は「京都市に住み続けたい」、「日本には住み続けたいが、京都市からは引っ越したい」、「日本には住み続けたいが、京都市に住み続けるかわからない」の合計

※『日本に住み続けたいが、京都市からは引っ越したい、または住み続けるか不明』は「日本には住み続けたいが、京都市からは引っ越したい」と「日本には住み続けたいが、京都市に住み続けるかわからない」の合計

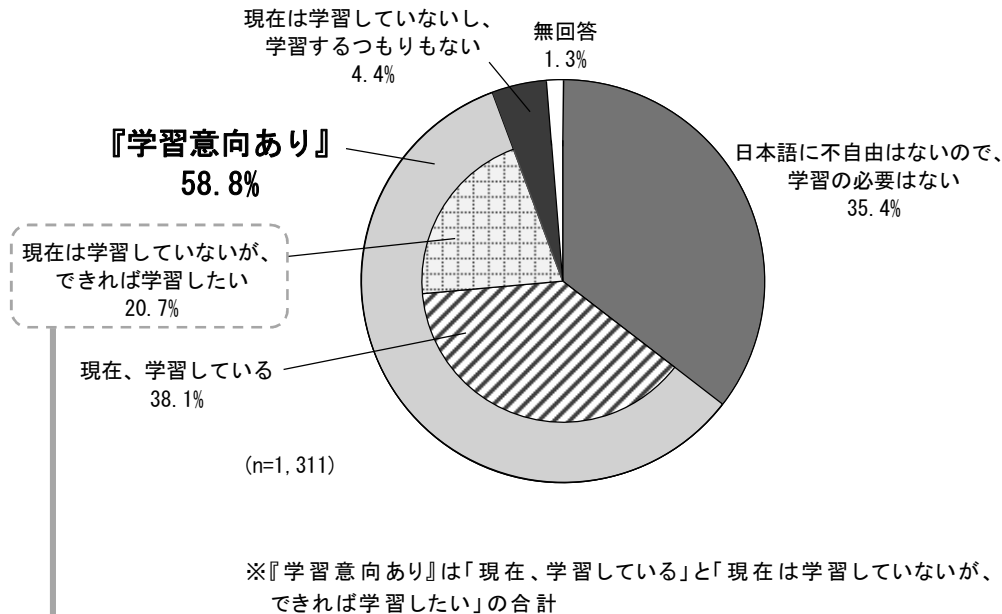
【京都市からの転出理由】(単一回答)



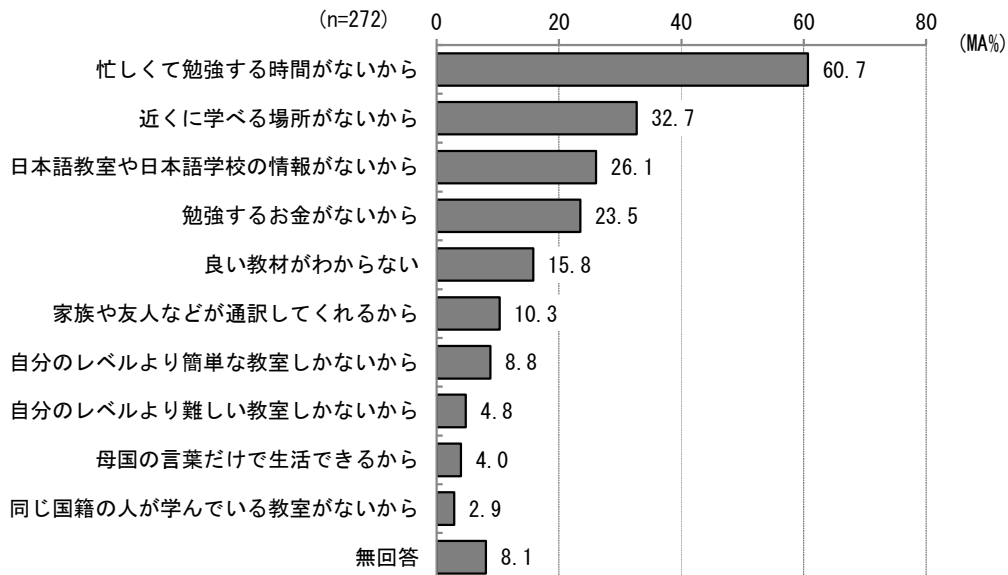
❖日本語の学習について❖

- ・58.8%が『学習意向あり』と回答。
- ・「現在は学習していないが、できれば学習したい」と回答した人の、日本語を学ぶことができない理由は、「忙しくて勉強する時間がないから」が最も多く、次いで、「近くに学べる場所がないから」、「日本語教室や日本語学校の情報がないから」となっている。

【日本語の学習状況】(単一回答)



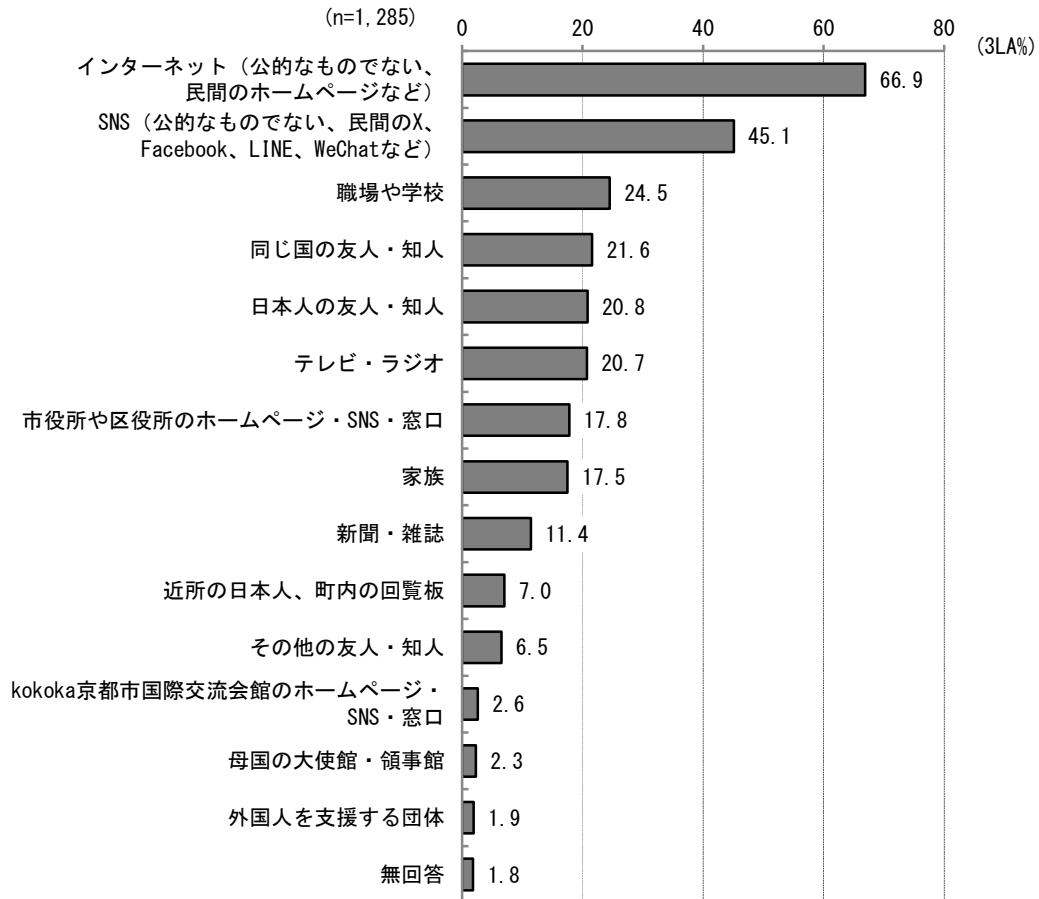
【日本語を学ぶことができない理由】(複数回答)



❖情報について❖

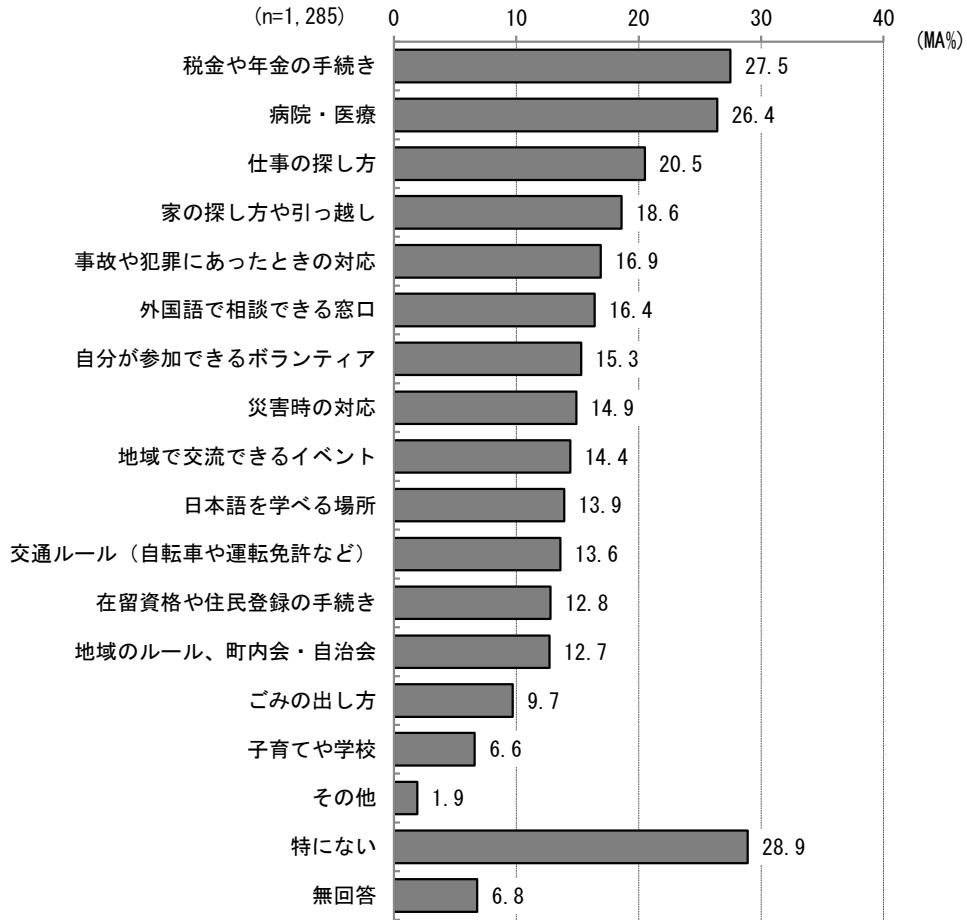
・生活に必要な情報の入手先は、「インターネット(公的なものでない、民間のホームページなど)」が最も多く、次いで、「SNS(公的なものでない、民間のX、Facebook、LINE、WeChatなど)」、「職場や学校」となっている。

【生活に必要な情報の入手先】(あてはまるもの3つを選択)



・不足していると感じる多言語の情報は、「税金や年金の手続き」が最も多く、次いで、「病院・医療」、「仕事の探し方」となっている。

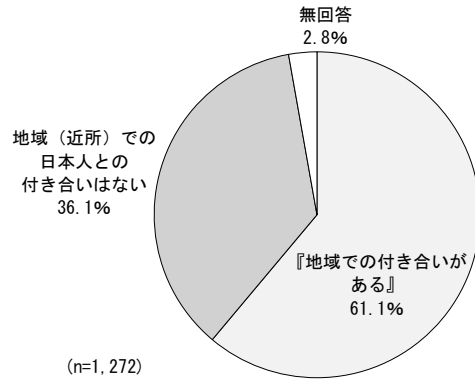
【不足していると感じる多言語の情報】(複数回答)



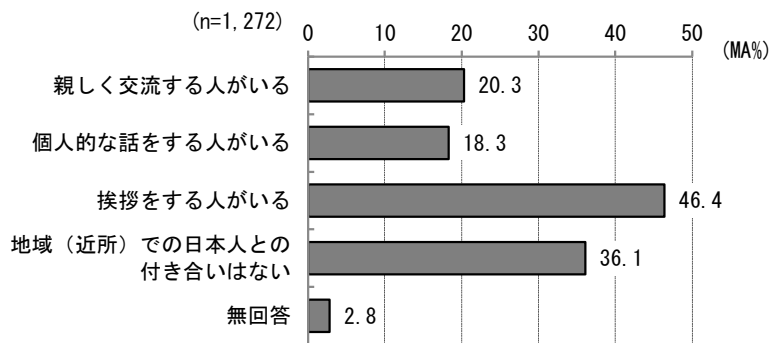
❖日本人との交流について❖

- ・61.1%が日本人との『地域での付き合いがある』と回答。
- ・『地域での付き合いがある』と回答した人の中で、地域での付き合いは、「挨拶をする人がいる」が最も多く、次いで、「親しく交流する人がいる」、「個人的な話をする人がいる」となっている。

【地域(近所)での日本人との交流】(複数回答)

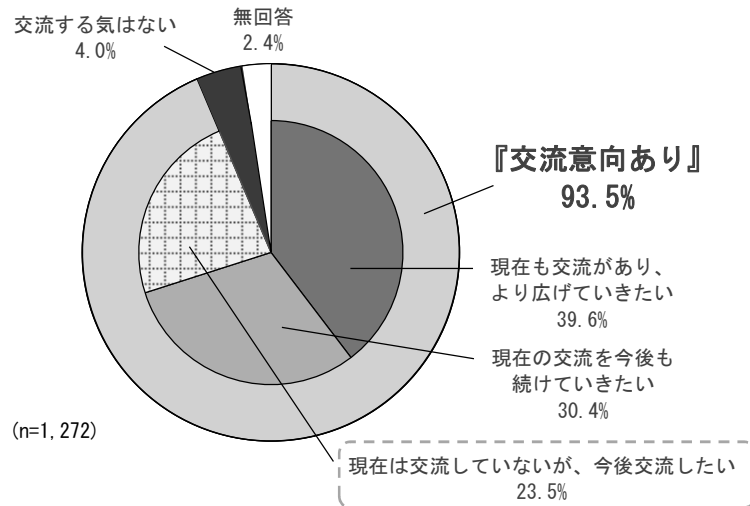


※『地域での付き合いがある』は全回答者から「地域(近所)での日本人との付き合いはない」と「無回答」を除いた割合



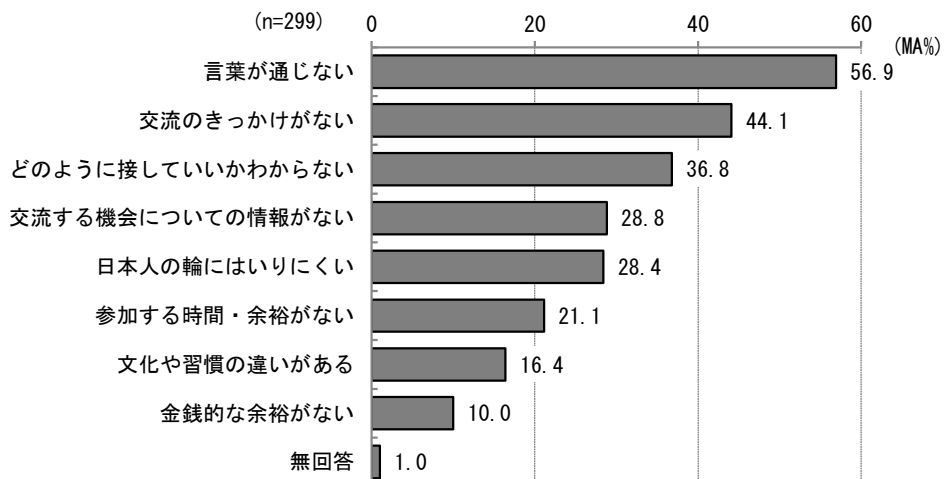
- ・93.5%が日本人との『交流意向あり』と回答。
- ・「現在は交流していないが、今後交流したい」と回答した人の、現在、交流できていない理由は、「言葉が通じない」が最も多く、次いで、「交流のきっかけがない」、「どのように接していいかわからない」となっている。

【今後の日本人との交流意向】(単一回答)



※『交流意向あり』は「現在も交流があり、より広げていきたい」、「現在の交流を今後も続けていきたい」、「現在は交流していないが、今後交流したい」の合計

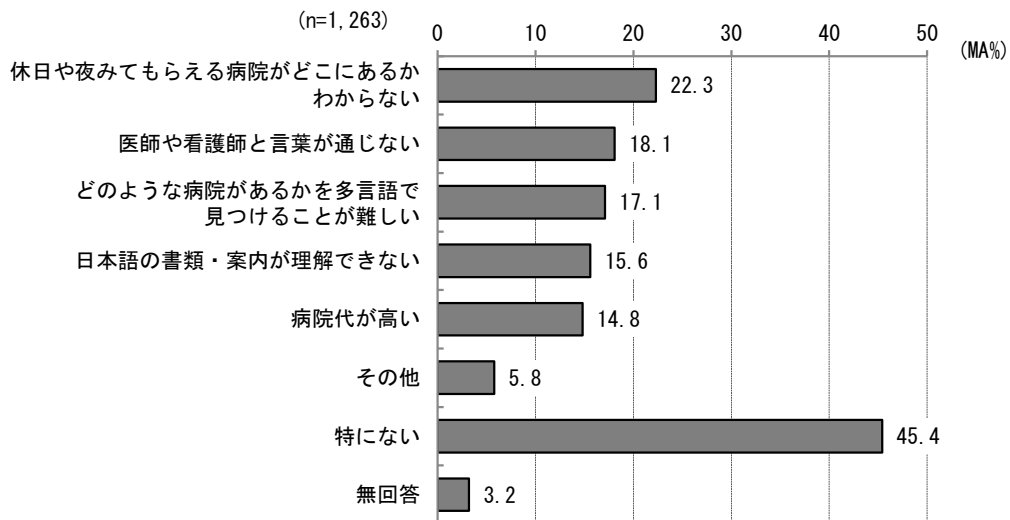
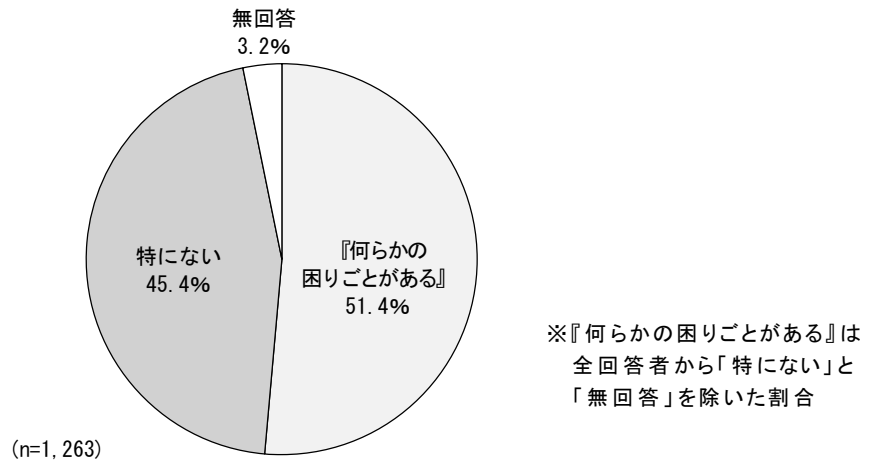
【交流できていない理由】(複数回答)



❖病院受診時の困りごとについて❖

- ・51.4%が病院受診時に『何らかの困りごとがある』と回答。
- ・病院受診時の困りごとは、「休日や夜みてもらえる病院がどこにあるかわからない」が最も多く、次いで、「医師や看護師と言葉が通じない」、「どのような病院があるかを多言語で見つけることが難しい」となっている。

【病院受診時の困りごと】(複数回答)

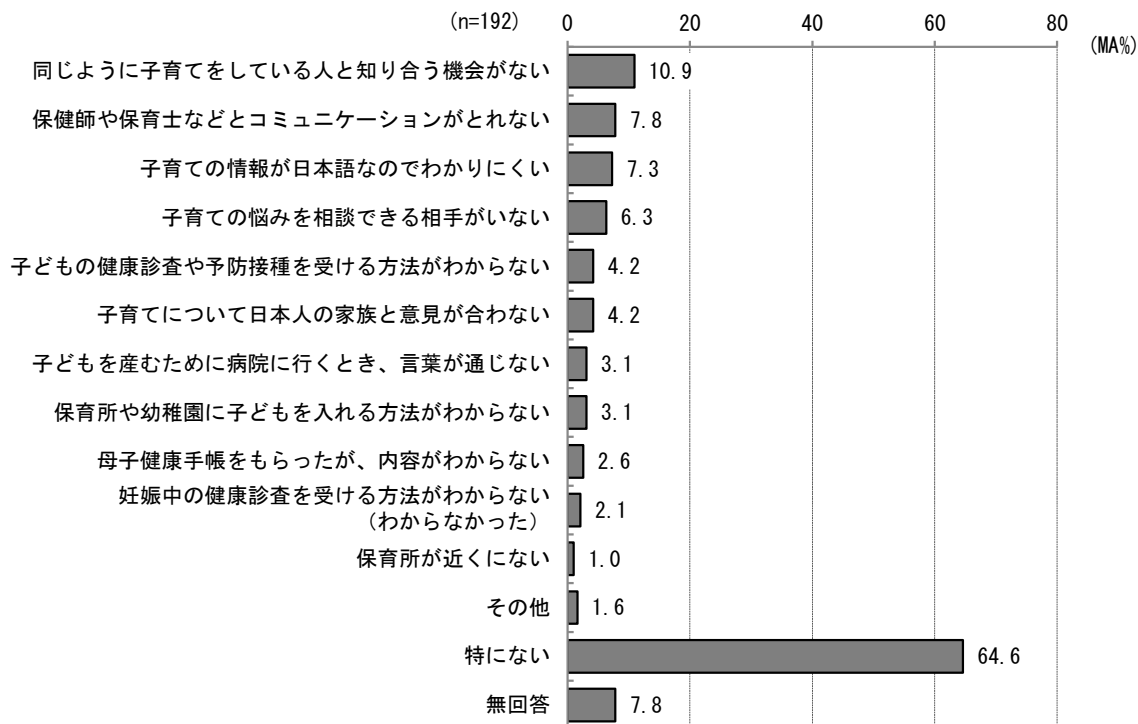
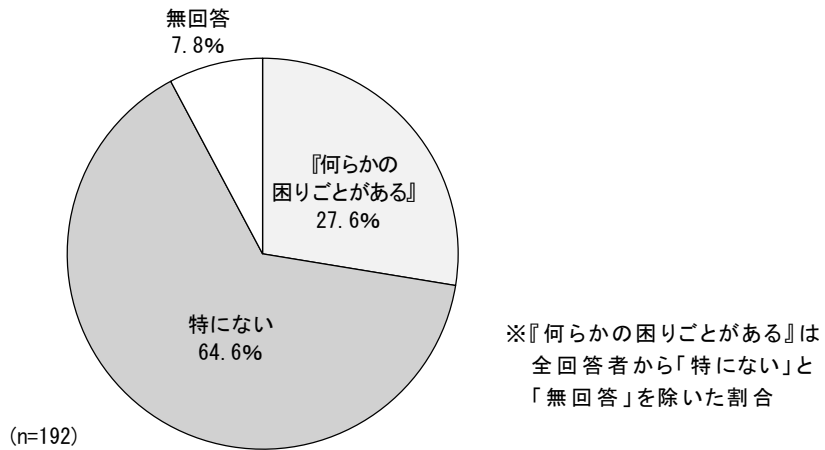


❖子育て・教育の困りごとについて❖

※日本に子どもがいると回答した人(0歳～18歳の子どもがいると回答した人から、就学状況の問いの「日本にいない」、「(該当する年齢の)子どもはいない」、「無回答」を除く)対象

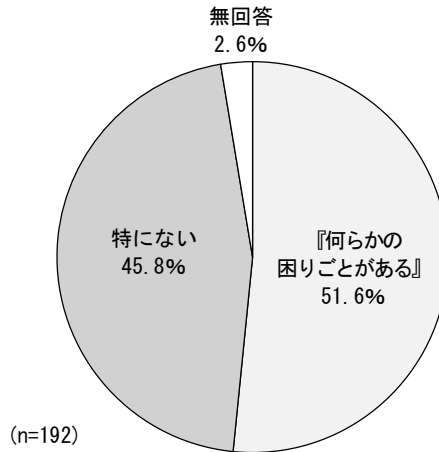
- ・27.6%が出産・育児に『何らかの困りごとがある』と回答。
- ・出産・育児の困りごとは、「同じように子育てをしている人と知り合う機会がない」が最も多く、次いで、「保健師や保育士などとコミュニケーションがとれない」、「子育ての情報が日本語なのでわかりにくい」となっている。

【出産・育児の困りごと】(複数回答)

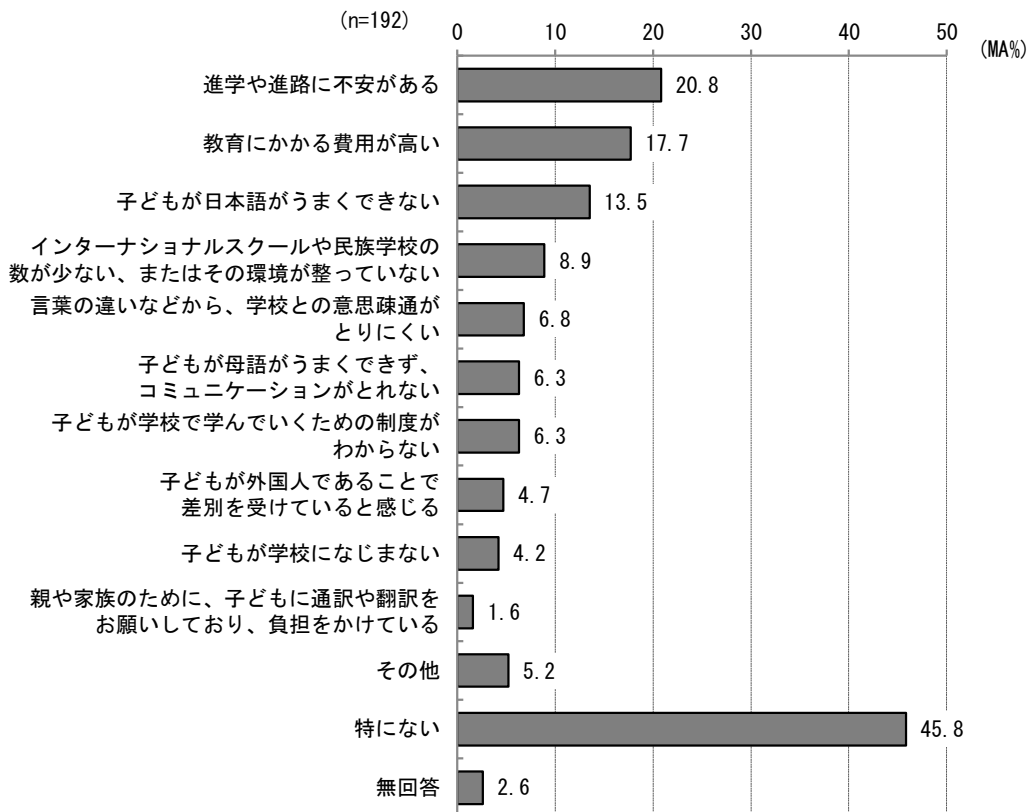


- ・51.6%が教育に『何らかの困りごとがある』と回答。
- ・教育の困りごとは、「進学や進路に不安がある」が最も多く、次いで、「教育にかかる費用が高い」、「子どもが日本語がうまくできない」となっている。

【教育の困りごと】(複数回答)



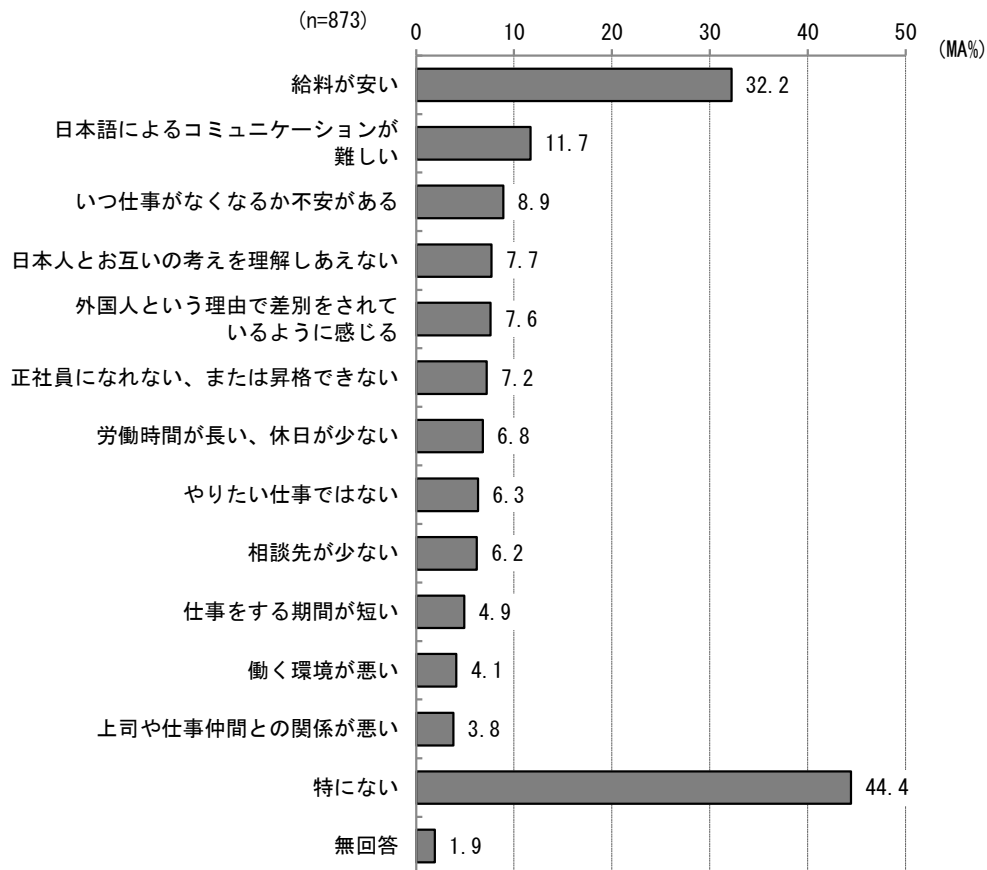
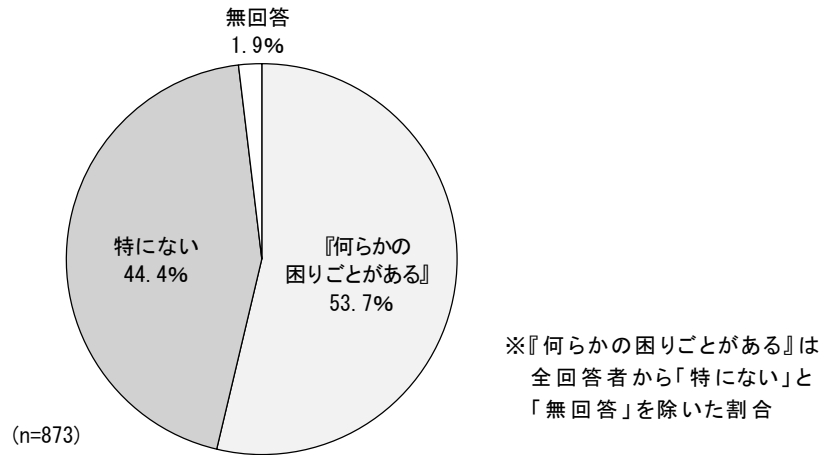
※『何らかの困りごとがある』は全回答者から「特にない」と「無回答」を除いた割合



❖仕事の困りごとについて❖

- ・53.7%が現在の仕事に『何らかの困りごとがある』と回答。
- ・仕事の困りごとは、「給料が安い」が最も多く、次いで、「日本語によるコミュニケーションが難しい」、「いつ仕事がなくなるか不安がある」となっている。

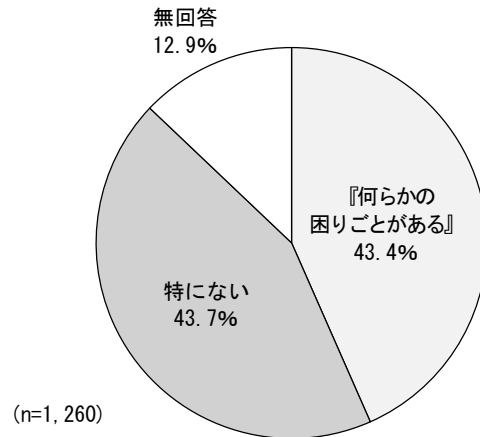
【仕事の困りごとや不満】(複数回答)



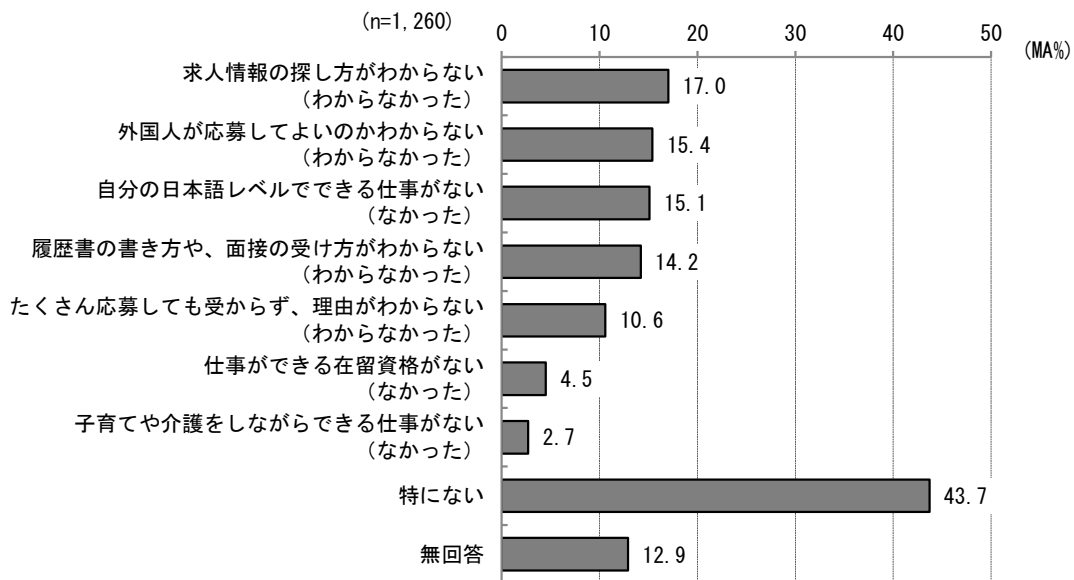
※仕事をしている(「正社員(経営者を含む)」、「派遣社員・契約社員」、「自営業(家族従業者、自由業、個人事業主)」、「アルバイト・パート、内職」)と回答した人対象

- ・43.4%が求職時に『何らかの困りごとがある』と回答。
- ・求職時の困りごとは、「求人情報の探し方がわからない(わからなかった)」が最も多く、次いで、「外国人が応募してよいのかわからない(わからなかった)」、「自分の日本語レベルでできる仕事がない(なかった)」となっている。

【求職時の困りごと】(複数回答)



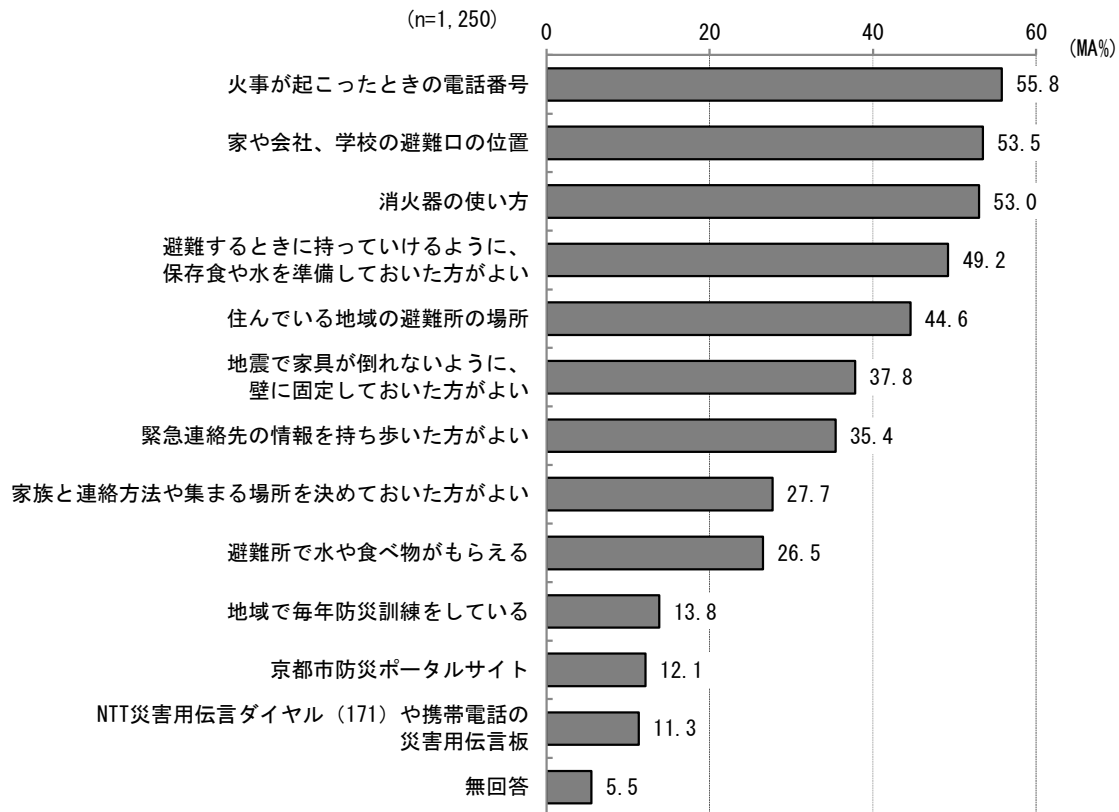
※『何らかの困りごとがある』は全回答者から「特にない」と「無回答」を除いた割合



❖防災について❖

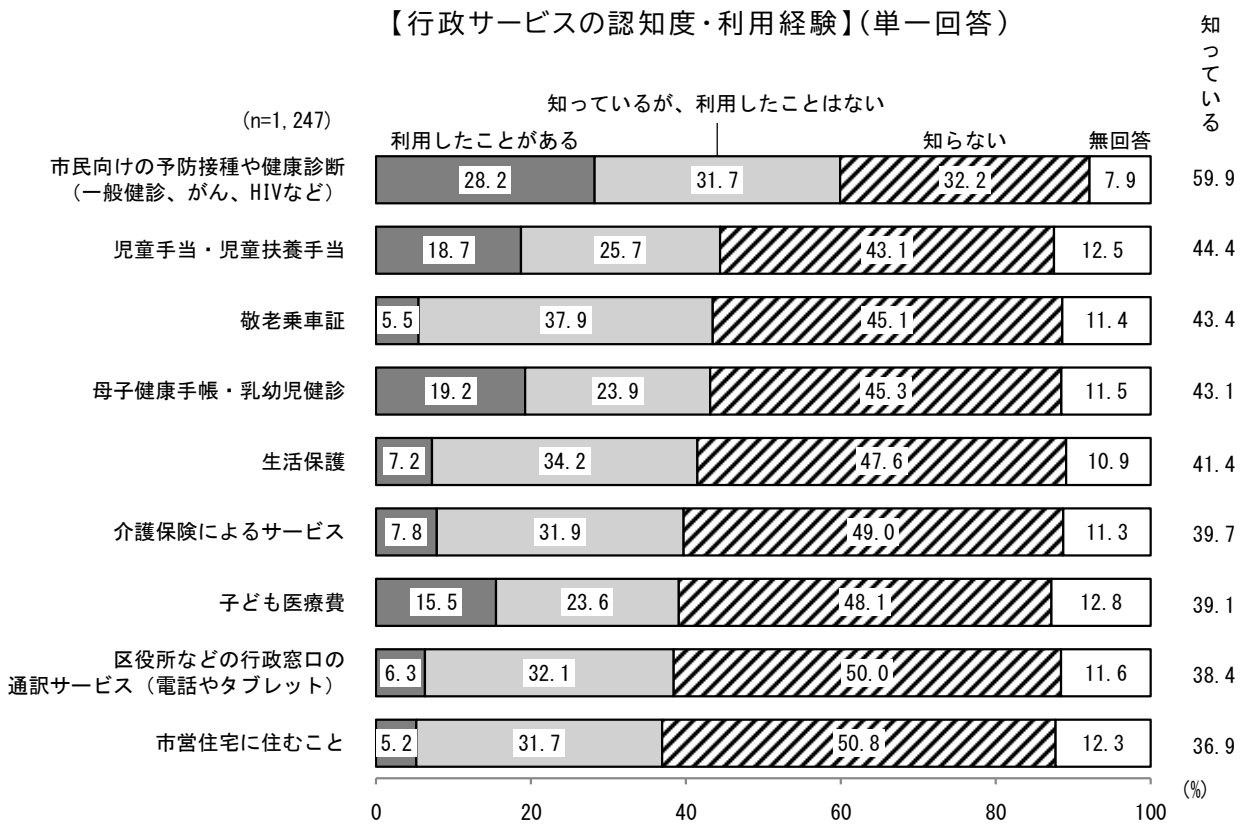
・防災について知っていることは、「火事が起こったときの電話番号」が最も多く、次いで、「家や会社、学校の避難口の位置」、「消火器の使い方」となっている。

【防災について知っていること】(複数回答)



❖行政・相談窓口について❖

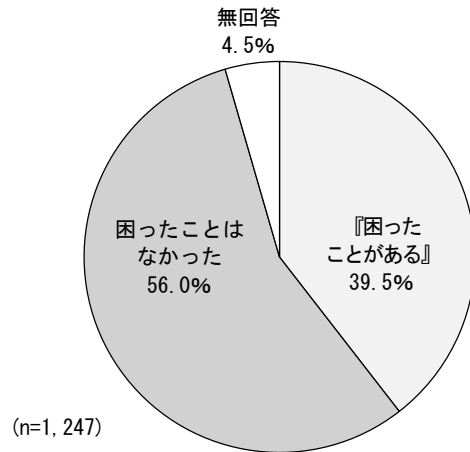
・行政サービスについて『知っている』ことは、「市民向けの予防接種や健康診断（一般健診、がん、HIVなど）」が最も多く、次いで、「児童手当・児童扶養手当」、「敬老乗車証」となっている。



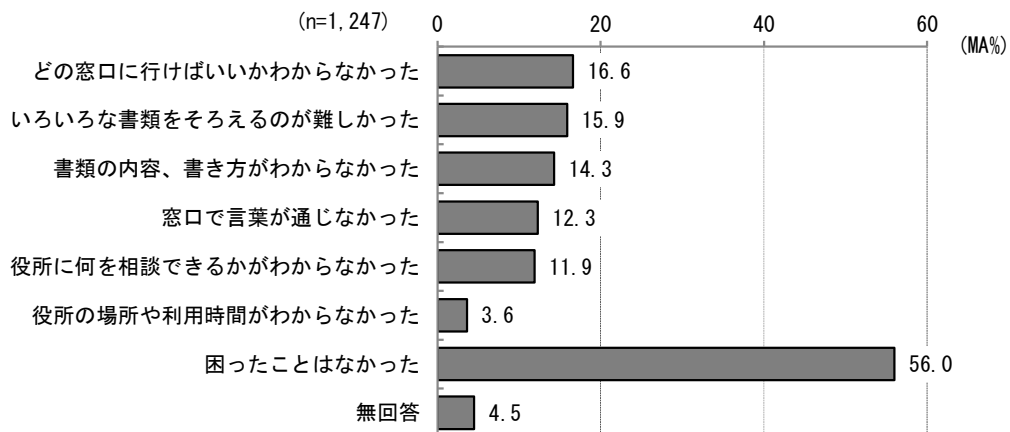
※『知っている』は「利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」の合計

- ・39.5%が行政窓口で『困ったことがある』と回答。
- ・行政窓口での困りごとは、「どの窓口に行けばいいかわからなかった」が最も多く、次いで、「いろいろな書類をそろえるのが難しかった」、「書類の内容、書き方がわからなかった」となっている。

【行政窓口での困りごと】(複数回答)



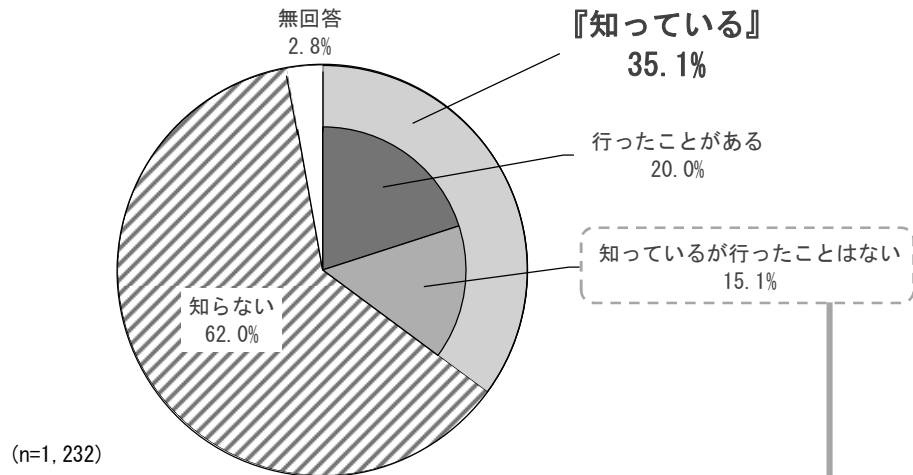
※『困ったことがある』は全回答者から「困ったことはなかった」と「無回答」を除いた割合



❖kokoka 京都市国際交流会館について❖

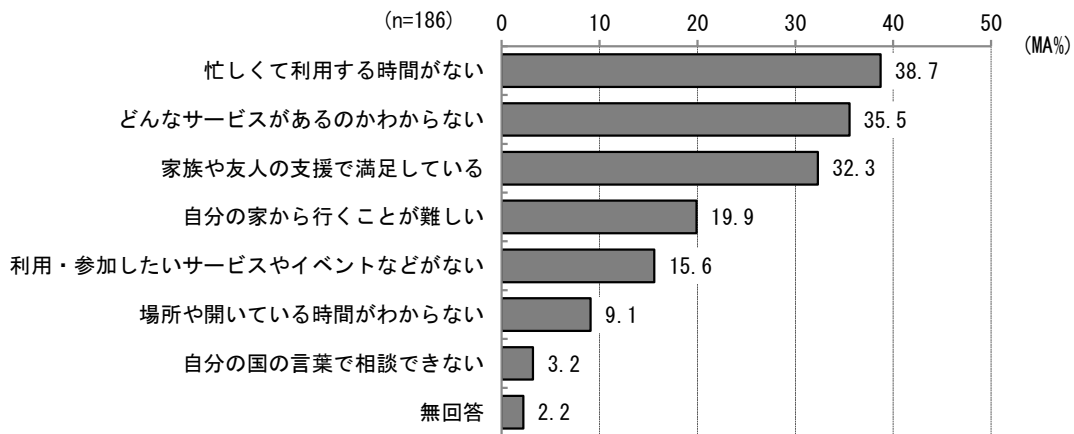
- ・35.1%がkokoka京都市国際交流会館を『知っている』と回答。
- ・「知っているが行ったことはない」と回答した人の、利用しない理由は、「忙しくて利用する時間がない」が最も多く、次いで、「どんなサービスがあるのかわからない」、「家族や友人の支援で満足している」となっている。

【kokoka京都市国際交流会館の認知度】(単一回答)



※『知っている』は「行ったことがある」と「知っているが行ったことはない」の合計

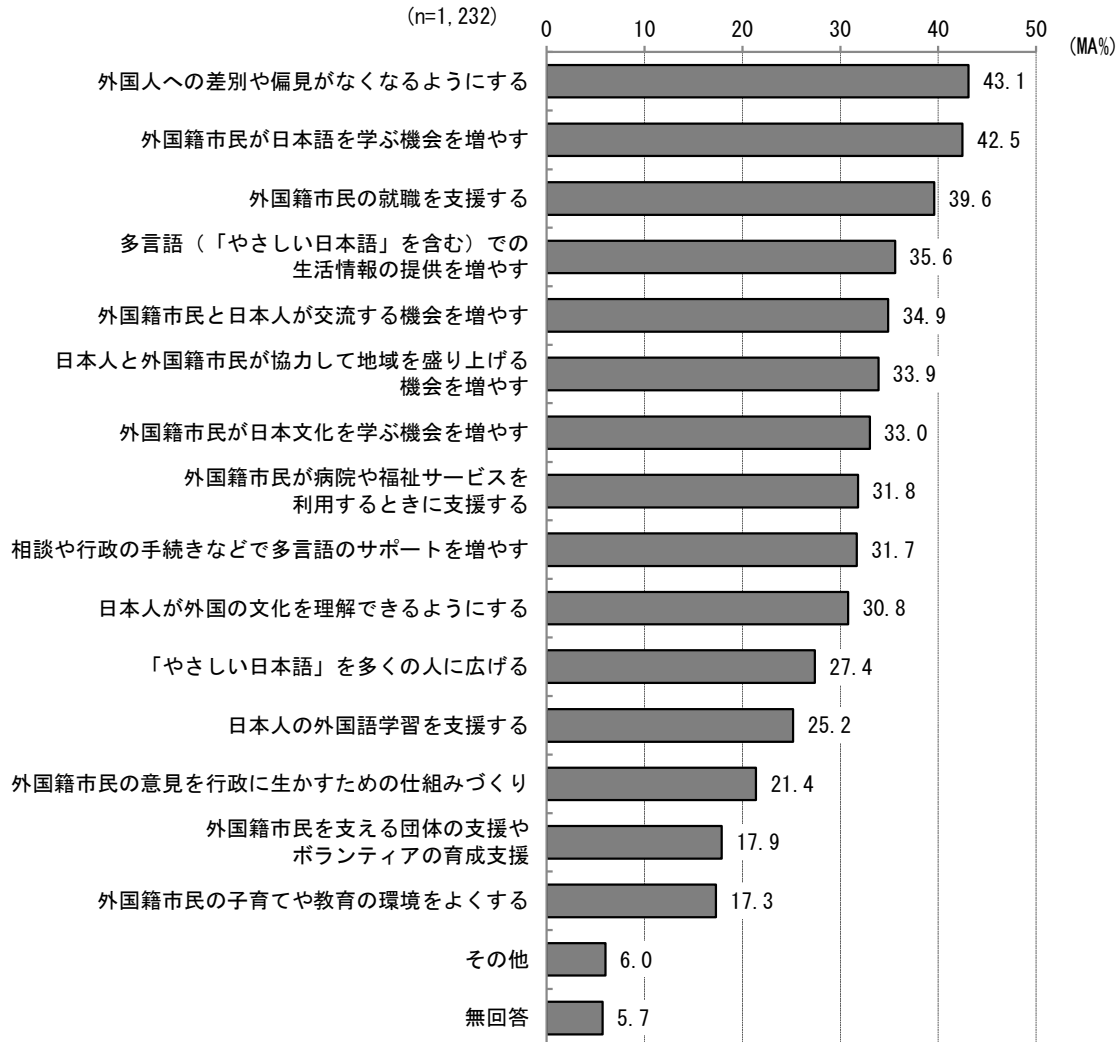
【kokoka京都市国際交流会館を利用しない理由】(複数回答)



❖京都市、日本人に望むことについて❖

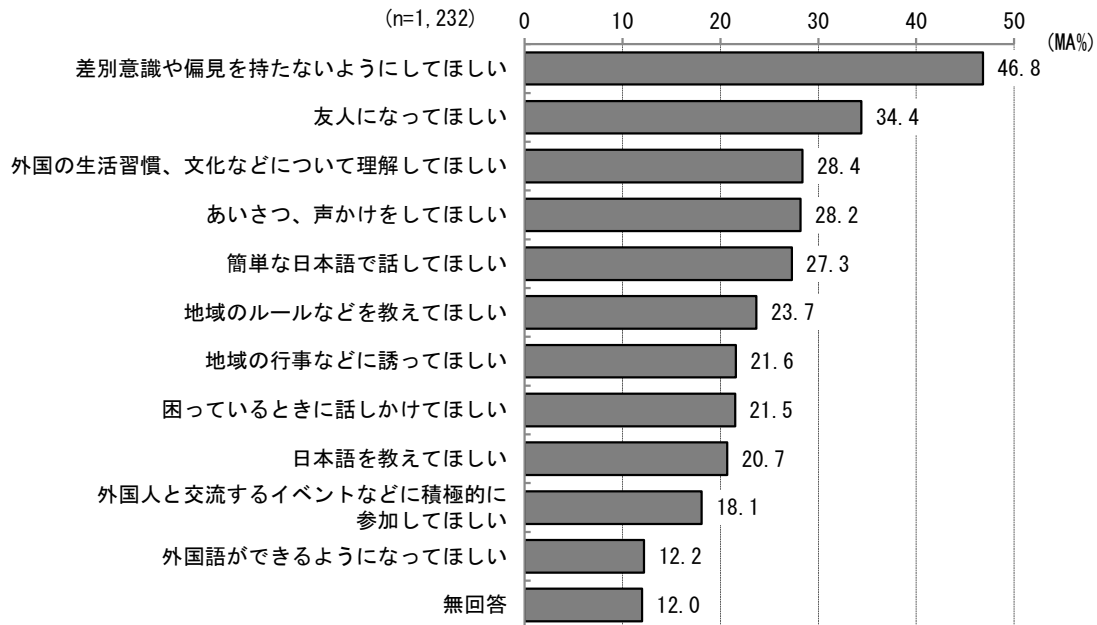
・京都市に望むことは、「外国人への差別や偏見がなくなるようにする」が最も多く、次いで、「外国籍市民が日本語を学ぶ機会を増やす」、「外国籍市民の就職を支援する」となっている。

【京都市に望むこと】(複数回答)



・日本人に望むことは、「差別意識や偏見を持たないようにしてほしい」が最も多く、次いで、「友人になってほしい」、「外国の生活習慣、文化などについて理解してほしい」となっている。

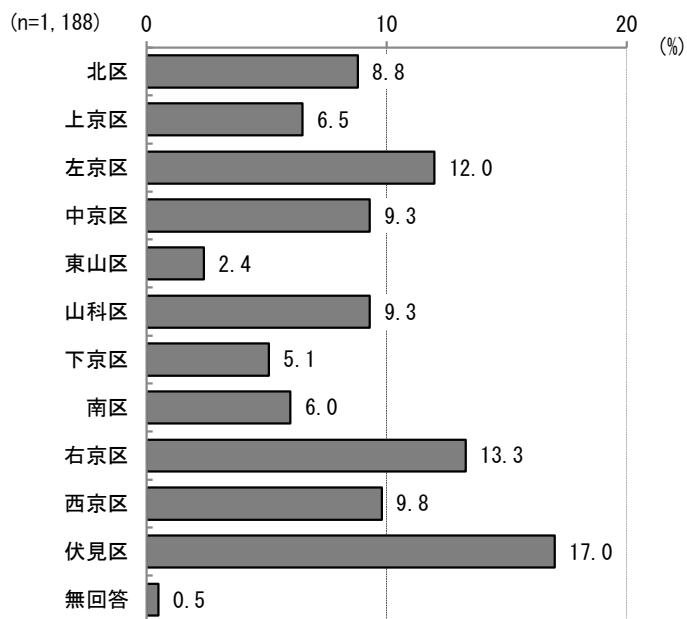
【日本人に望むこと】(複数回答)



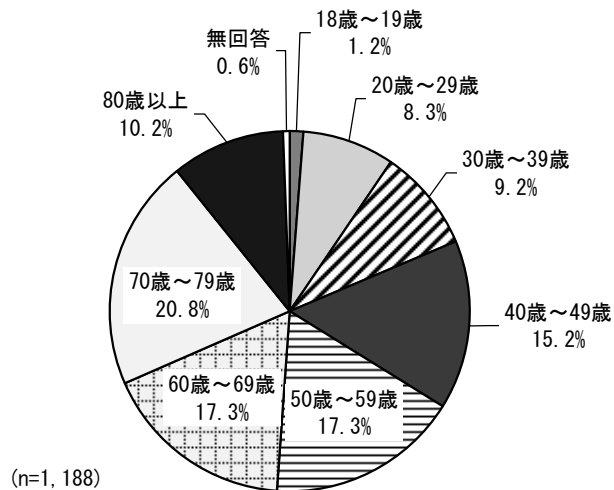
外国籍市民との共生に関するアンケートの結果(日本人へのアンケート)

◆回答者について◆

【居住地】(単一回答)



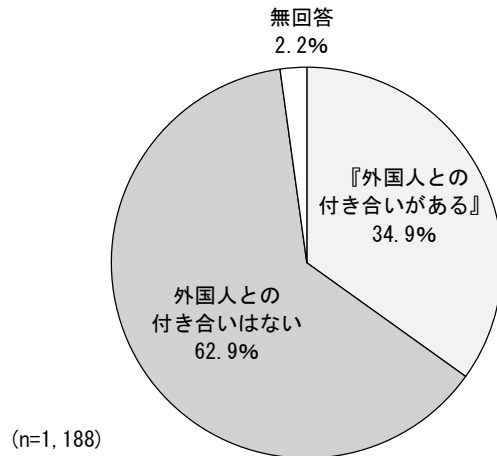
【年齢】(単一回答)



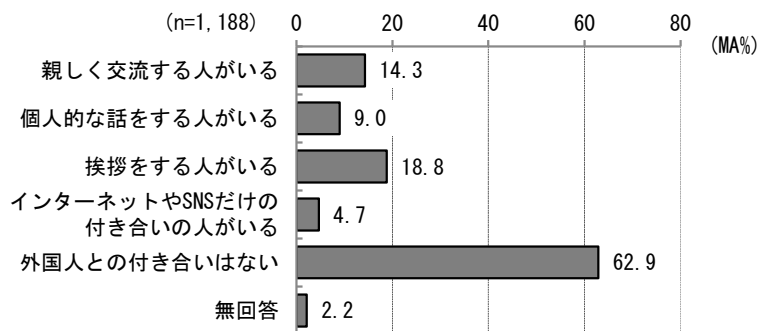
❖外国人との交流について❖ ※外国人には、外国籍市民に加え、京都市以外に住む友人や同僚なども含む

- ・34.9%が『外国人との付き合いがある』と回答。
- ・『外国人との付き合いがある』と回答した人の中で、外国人との付き合いは、「挨拶をする人がいる」が最も多く、次いで、「親しく交流する人がいる」、「個人的な話をする人がいる」となっている。

【外国人との交流】(複数回答)

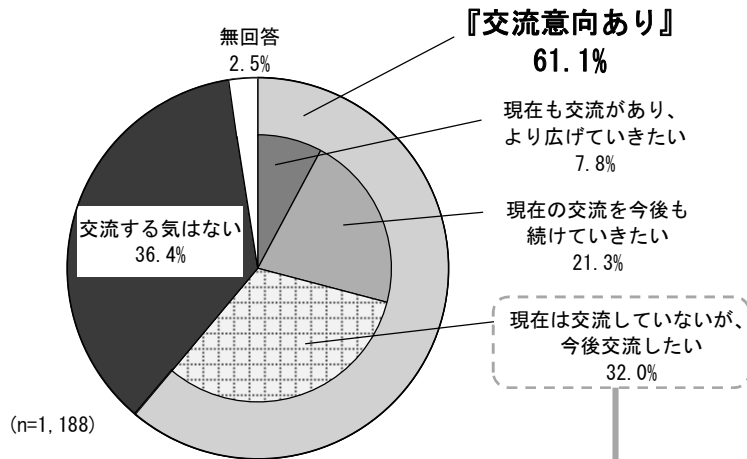


※『外国人との付き合いがある』は全回答者から「外国人との付き合いはない」と「無回答」を除いた割合



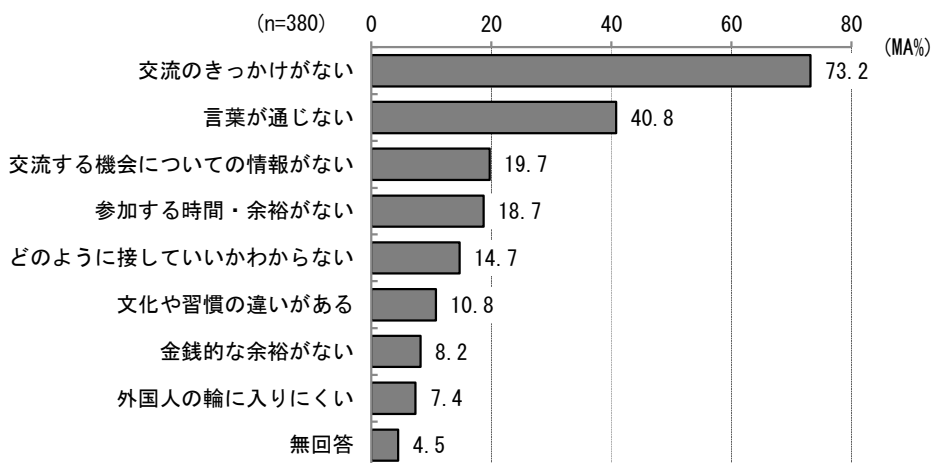
- ・61.1%が外国人との『交流意向あり』と回答。
- ・「現在は交流していないが、今後交流したい」と回答した人の、交流できていない理由は、「交流のきっかけがない」が最も多く、次いで、「言葉が通じない」、「交流する機会についての情報が無い」となっている。

【今後の外国人との交流意向】(単一回答)



※『交流意向あり』は「現在も交流があり、より広げていきたい」、「現在の交流を今後も続けていきたい」、「現在は交流していないが、今後交流したい」の合計

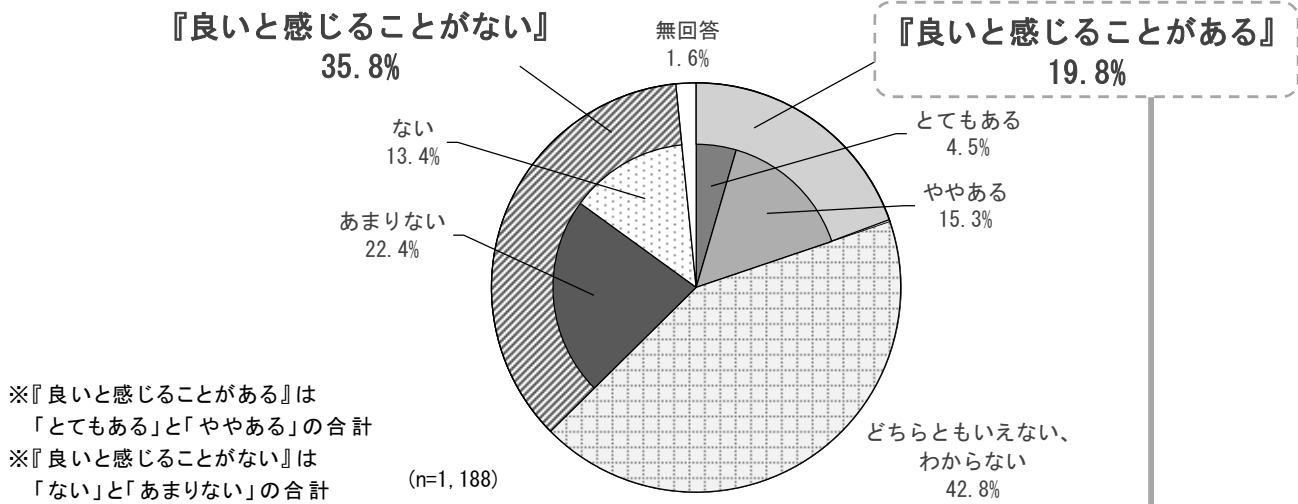
【交流できていない理由】(複数回答)



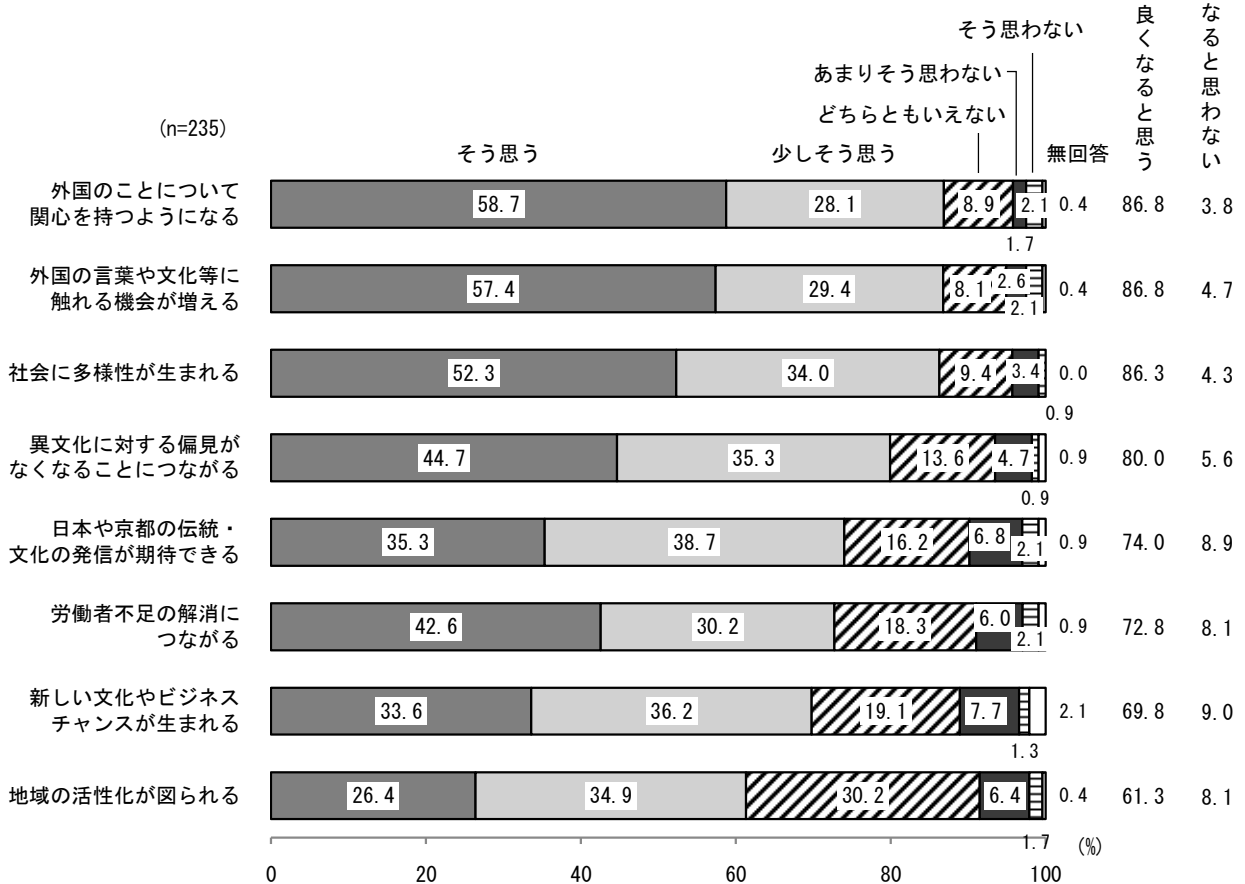
❖外国籍市民の受け入れに関する意識・希望について❖

- ・19.8%が外国籍市民が増えることで、『良いと感じることがある』と回答。
- ・『良いと感じることがある』と回答した人の、『良くなると思う』ことは、「外国のことについて関心を持つようになる」、「外国の言葉や文化等に触れる機会が増える」が最も多く、次いで、「社会に多様性が生まれる」となっている。

【外国籍市民が増えることで良いと感じることはあるか】(単一回答)



【外国籍市民が増えることで良くなること】(単一回答)

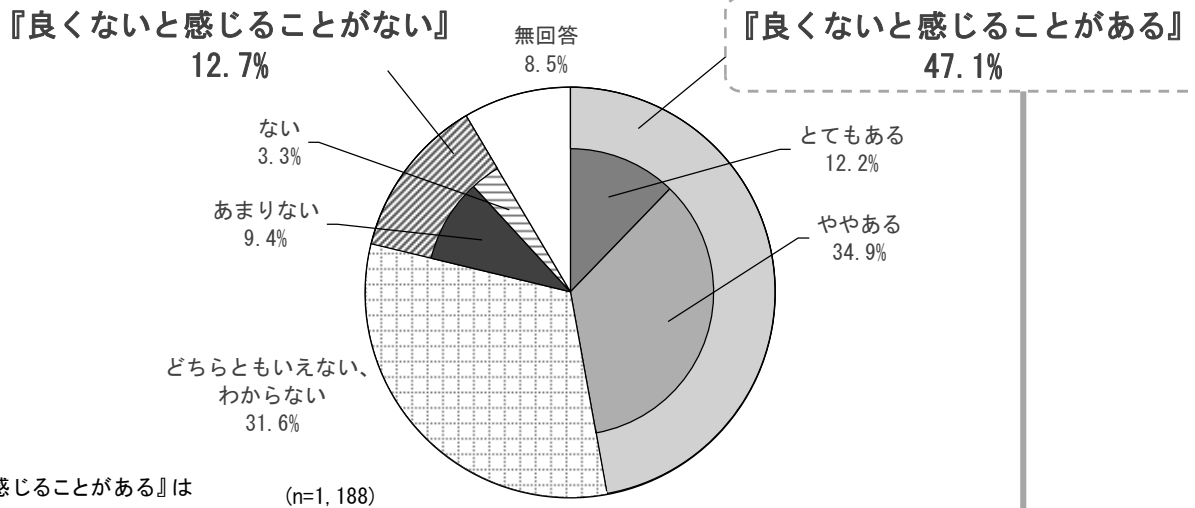


※『良くなると思う』は「そう思う」と「少しそう思う」の合計

※『良くなると思わない』は「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計

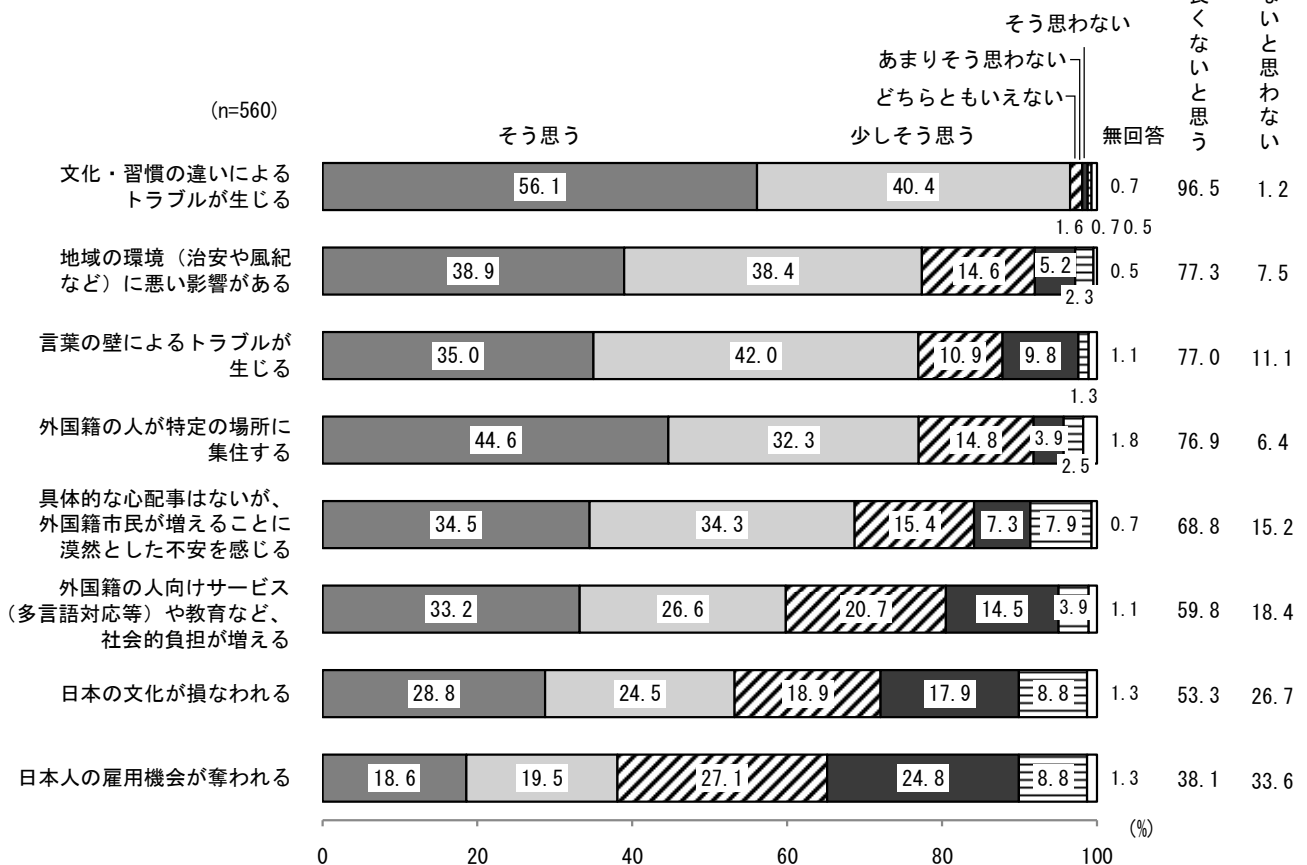
- ・47.1%が外国籍市民が増えることで、『良くないと感じることがある』と回答。
- ・『良くないと感じることがある』と回答した人の『良くないと思う』ことは、「文化・習慣の違いによるトラブルが生じる」が最も多く、次いで、「地域の環境(治安や風紀など)に悪い影響がある」、「言葉の壁によるトラブルが生じる」となっている。

【外国籍市民が増えることで良くないと感じることがあるか】(単一回答)



※『良くないと感じることがある』は「とてもある」と「ややある」の合計
 ※『良くないと感じることがない』は「ない」と「あまりない」の合計

【外国籍市民が増えることで良くないこと】(単一回答)

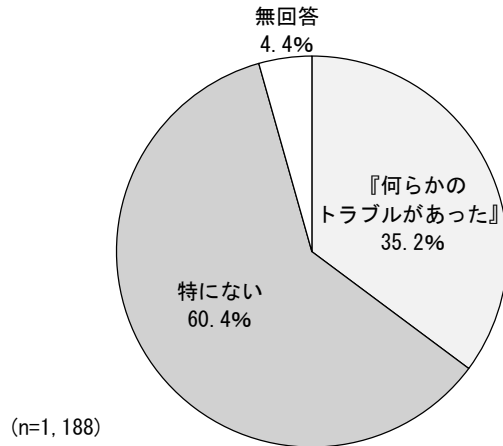


※『良くないと思う』は「そう思う」と「少しそう思う」の合計
 ※『良くないと思わない』は「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計

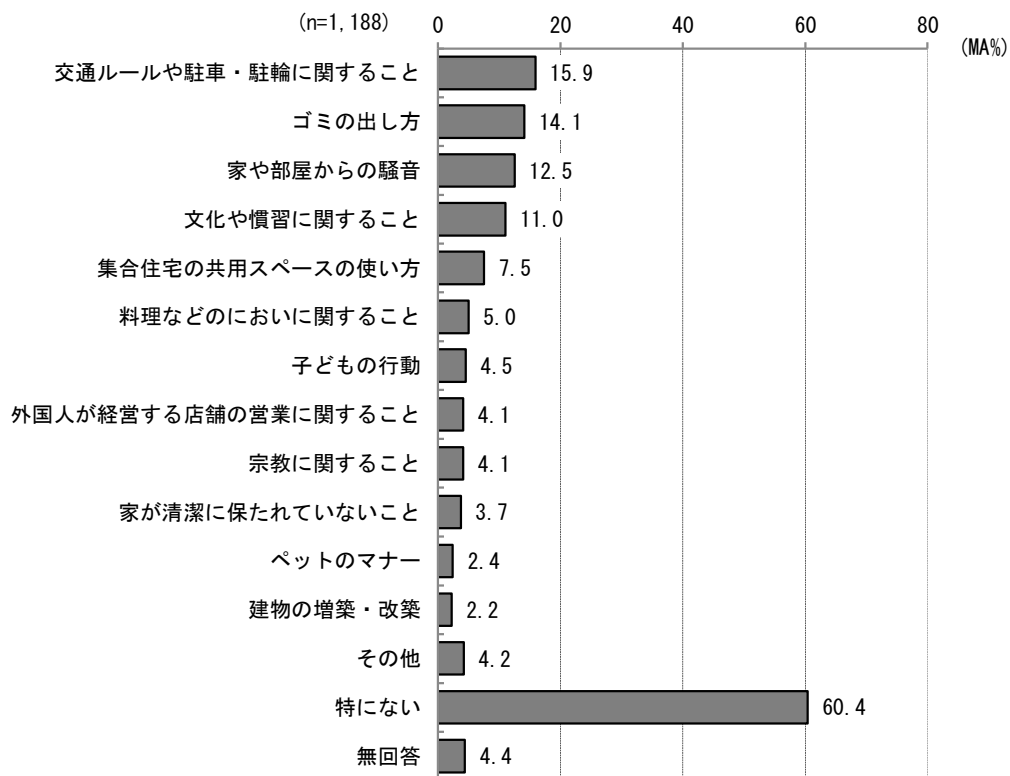
❖地域の外国籍市民との間のトラブルについて❖

- ・35.2%が地域の外国籍市民と『何らかのトラブルがあった』と回答。
- ・トラブルの内容は、「交通ルールや駐車・駐輪に関すること」が最も多く、次いで、「ゴミの出し方」、「家や部屋からの騒音」となっている。

【地域の外国籍市民との間のトラブル】(複数回答)



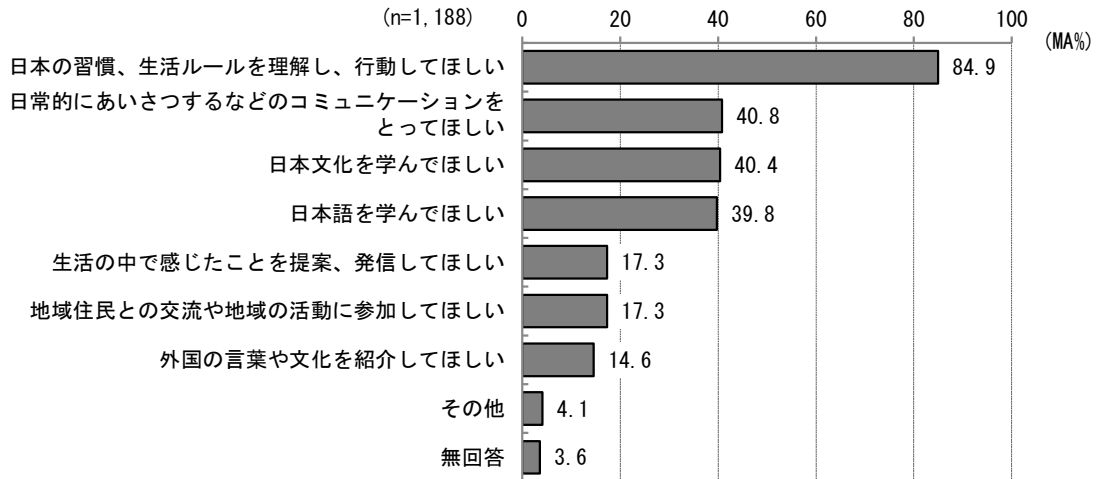
※『何らかのトラブルがあった』は
全回答者から「特にない」と
「無回答」を除いた割合



❖外国籍市民、京都市に望むことについて❖

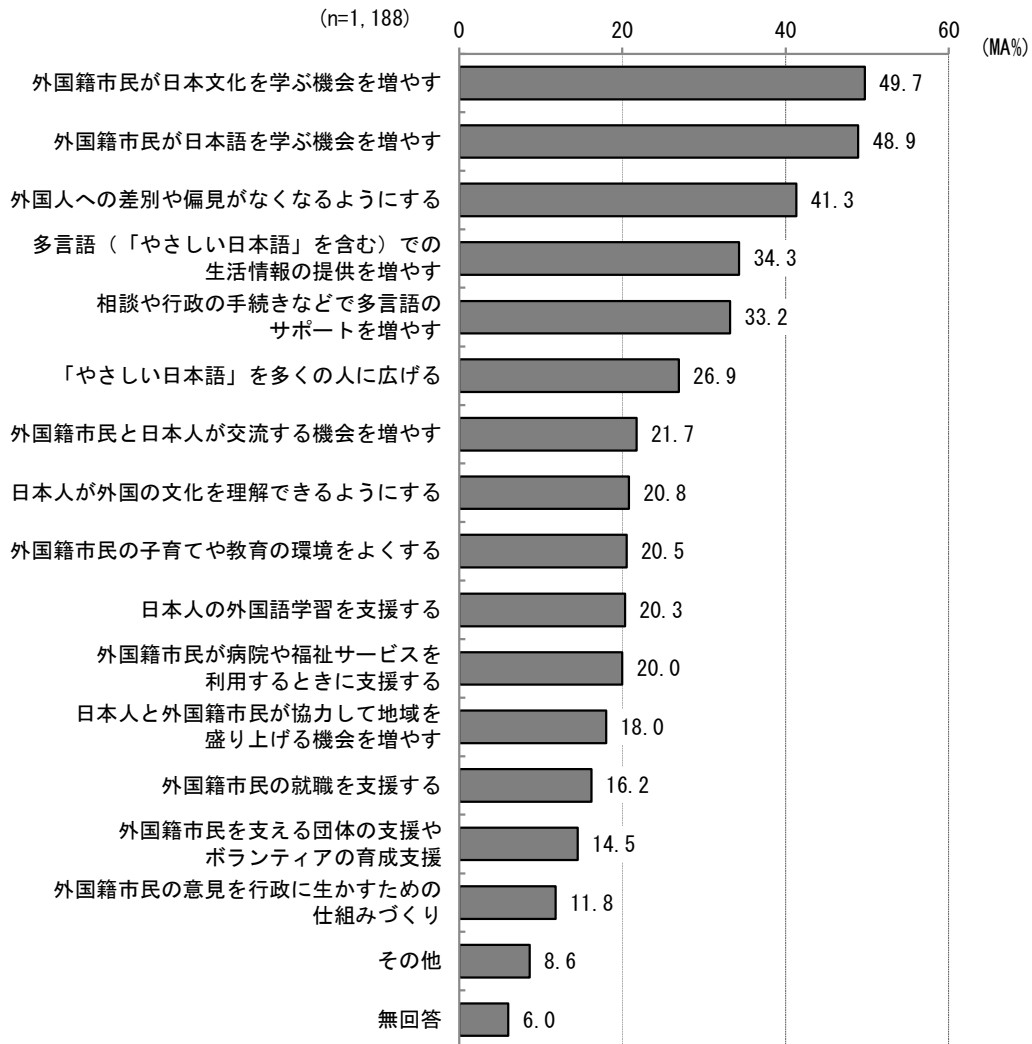
・外国籍市民に望むことは、「日本の習慣、生活ルールを理解し、行動してほしい」が最も多く、次いで、「日常的にあいさつするなどのコミュニケーションをとってほしい」、「日本文化を学んでほしい」となっている。

【外国籍市民に望むこと】(複数回答)



・京都市に望むことは、「外国籍市民が日本文化を学ぶ機会を増やす」が最も多く、次いで、「外国籍市民が日本語を学ぶ機会を増やす」、「外国人への差別や偏見がなくなるようにする」となっている。

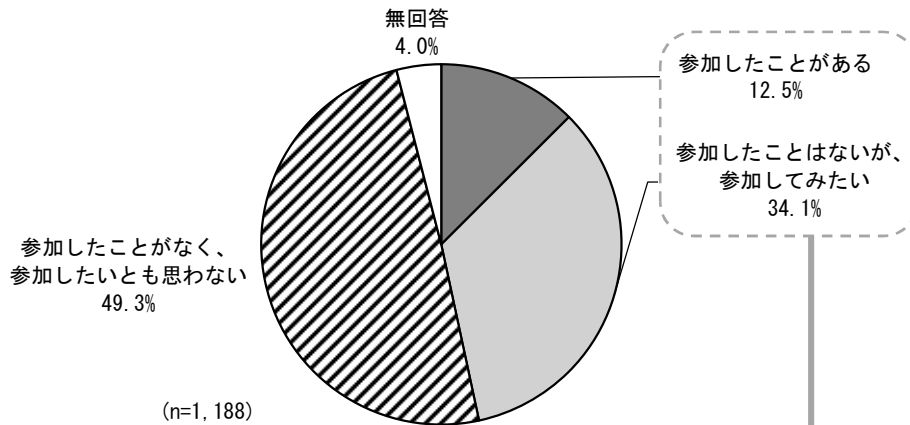
【京都市に望むこと】(複数回答)



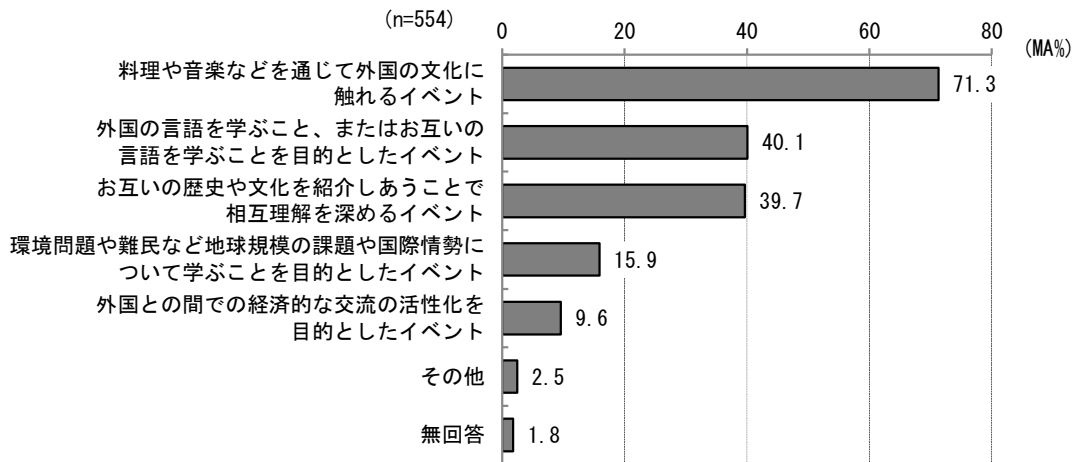
❖国際交流の経験、関心・希望について❖

- ・国際交流事業に、「参加したことがある」が12.5%、「参加したことはないが、参加してみたい」が34.1%となっている。
- ・「参加したことがある」、「参加したことはないが、参加してみたい」と回答した人の、関心がある国際交流イベントは、「料理や音楽などを通じて外国の文化に触れるイベント」が最も多く、次いで、「外国の言語を学ぶこと、またはお互いの言語を学ぶことを目的としたイベント」、「お互いの歴史や文化を紹介しあうことで相互理解を深めるイベント」となっている。

【国際交流事業への参加経験や参加意向】(単一回答)



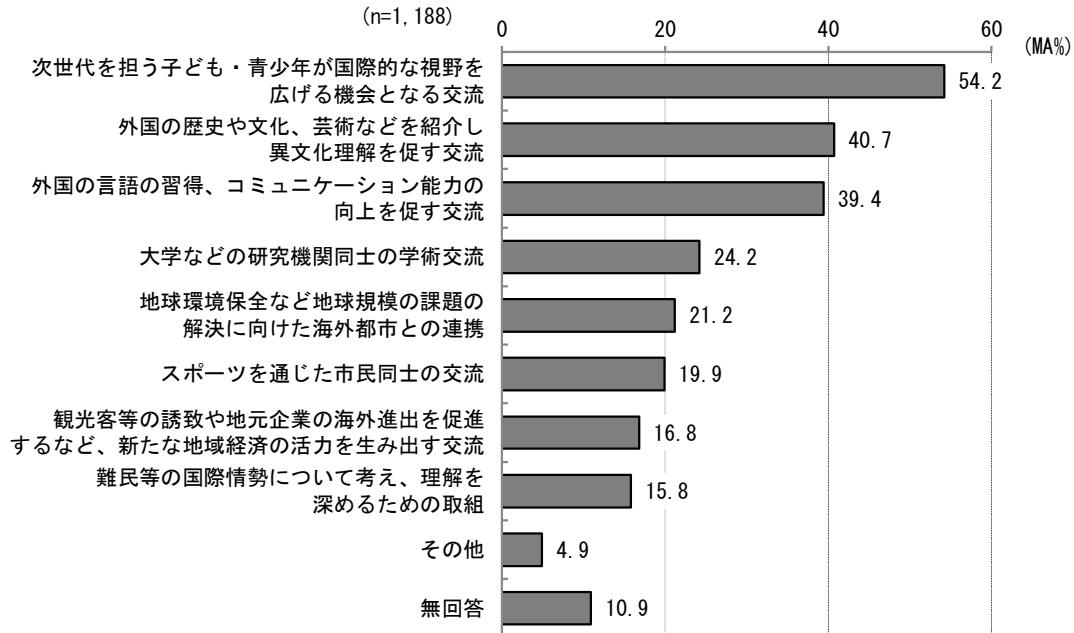
【関心がある国際交流イベント】(複数回答)



❖京都市が取り組むべき国際交流・国際協力について❖

・京都市が取り組むべき国際交流・国際協力は、「次世代を担う子ども・青少年が国際的な視野を広げる機会となる交流」が最も多く、次いで、「外国の歴史や文化、芸術などを紹介し異文化理解を促す交流」、「外国の言語の習得、コミュニケーション能力の向上を促す交流」となっている。

【京都市が取り組むべき国際交流・国際協力】(複数回答)



自由意見

❖外国籍市民の自由意見について❖

・回答延べ件数：683件

大分類	件数	小分類	件数
生活	119	京都での生活	55
		物価高騰、生活費	24
		ルール、マナー	22
		ゴミ出し	12
		生活上の手続き	6
言語	90	多言語情報	28
		日本語学習	28
		言葉で困っていること	24
		やさしい日本語	6
		その他	4
行政サービス	90	行政手続き・窓口	29
		外国籍市民への支援	13
		税金・年金・保険	11
		経済支援	10
		在留制度	9
		kokoka	7
		その他	11
交通	78	公共交通機関	40
		交通ルール	10
		自転車	9
		道路	5
		その他	14
差別・日本人の意識	52	差別と偏見	31
		日本人の意識	21
仕事	47	仕事さがし(就職支援)	27
		職場環境	20
観光・観光客	40	観光客による混雑	36
		観光客のマナー	4
交流	39	異文化交流	21
		日本人との交流	18
まちづくり・景観	28	まちづくり	20
		景観	8
住宅	27	家さがし・賃貸契約	17
		その他	10
調査	22	調査内容	22
子育て・教育	17	子どもの教育	11
		学費	6
医療	17	病院利用	17
その他	17	その他	17

❖日本人市民の自由意見について❖

・回答延べ件数：758件

大分類	件数	小分類	件数
外国人増加の不安や必要な対応	103	治安悪化の懸念	48
		外国人や外国企業の土地購入	31
		その他	24
交流	102	外国人との交流	102
日本のルールとマナーの順守	90	日本のルールとマナーの順守	90
相互理解	77	相互理解	43
		日本の文化・習慣の尊重	34
行政サービス	76	外国人優遇への反対	41
		受入環境の充実	18
		外国人支援	17
観光・観光客	69	観光客による混雑	45
		観光マナー	24
受入れの賛成・反対	58	受入れ賛成	35
		受入れ反対	23
日本人への支援の充実	47	日本人への支援の充実	47
出入国管理	43	受入制度(入国審査、人数制限など)	43
差別・偏見	25	外国人への差別、偏見	25
言語	25	日本人の外国語学習	11
		外国人の日本語学習	8
		言葉の壁	6
調査	18	調査手法	18
仕事	13	外国人の就労、日本の人手不足	13
その他	12	その他	12

令和7年度
京都市外国籍市民等意識・実態及び受入れに関する調査
結果報告書【概要版】

令和8年(2026年)3月発行

京都市印刷物第072370号

京都市総合企画局国際都市共創推進室

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
TEL 075-222-3072 FAX 075-222-3055

